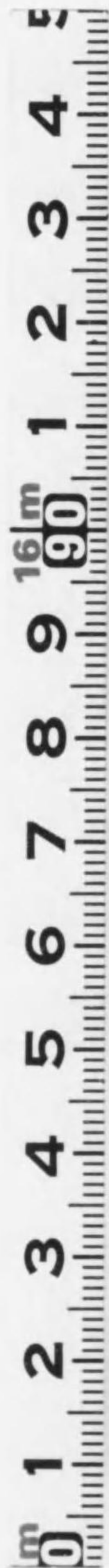


始



乙

昭和十六年一月

# 圖書館案內

優良圖書  
時局關係圖書  
支那事變關係雜誌索引  
中等參考圖書  
新着圖書  
圖書選擇用參考目錄

臺南市立臺南圖書館

(電話八九〇番)

416  
374

時 254  
108

目 次

1	閱覽案内	1
2	沿革の大要	2
3	敷地、建物及閱覽席	2
4	経 費	3
5	職 員	3
6	藏 書	3
7	閱覽人員	3
8	閱覽冊數	4
9	兒童はどれだけ利用したか	5
10	學年別入館兒童	5
11	兒童閱覽圖書冊數	5
12	本館備付閱覽用新聞	6
13	本館備付閱覽用雜誌	7
14	雜誌はどれ程讀まれたか	8
15	どんな本がよく讀まれたか	8
16	子供はどんな本を多く讀んだか	13
17	時局關係圖書及雜誌	16
18	中等參考書	44
19	主なる新着圖書	50
20	地方圖書館圖書選擇用參考目錄	54
21	臺南州下圖書館表	59
22	圖書分類表大綱	61

發行所寄贈本



### 1. 閱 覽 案 内

- 臺南圖書館は社會教育上有益なる圖書を蒐集し公衆の閱覽に供する傍地方開發上必要なる調査研究の資料を蒐集保存するを以て目的として居ります
- 閱 覽 時 間  
 {自六月一日 自午前九時} {自十月一日 自午前十時}  
 {至九月三十日 至午後十時} {至五月三十一日 至午後十時}
- 休 館 日  
 紀元節、天長節、始政記念日、臺灣神社例祭日、明治節  
 圖書整理日 毎月末日 (日曜に該當する時は其前日)  
 曝 書 九月又は十月中五日間  
 年 末 整 理 十二月二十八日  
 年 末 年 始 {自十二月二十九日}  
 {至翌年一月五日}
- 本館は閱覽料を徴收せず
- 本館は圖書の寄贈を受け又は公衆の閱覽に供する目的を以て委託圖書の保管を致します
- 圖書閱覽は館内閱覽館外閱覽の二種に分れて居ります、但し官公署及特殊團體に對しては特別取扱の便法があります
- 圖書を閱覽せんとするには先づ階下出納所に備付の圖書目録及カードにより希望圖書を検索するのです  
 希望圖書が容易に検索出来ぬ場合は御遠慮なく係員に御相談下さい
- 目的の圖書を見出し得たならば閱覽請求券を貰つてそれに書名、冊數、分類、番號、住所、姓名、職業、(學生、生徒は學校名及學年)を指定欄内に明記したる上係員に提出して圖書を借受け階上指定席に於て閱覽を願います
- 借受けた圖書に破損、欠頁等がありましたら直に係員に御申出で下さし何等の申出がなくて返却の際係員が之を発見した場合は賠償の責任を有することになつて居りますから十分御注意を願ひます
- 借覽し得べき圖書は同時に二冊で新着圖書及び新刊雜誌は一冊になつて居ります尙一旦借りた圖書は一應返却して更に借替えることが出来ます
- 退館せんとする場合は借覽圖書を出納所に返却し係員の檢印を受けて下さい

- 圖書携出證下附願(出納所に備付けあり)を提出して圖書携出證(六箇月間有効)の交付を受けられると自宅に於て閲覧することが出来ます、同時に一人一冊五日間です
- 何等の申出がなく圖書の返済が遅滞すると貸出を中止することがありますから御注意を願ます
- 希觀書、古書、禁帯出の圖書は館外貸出を御断りします
- 圖書は丁寧に取扱ひ書込、折込、切取等せぬ様にして下さい

### 2. 沿革の大要

大正八年九月 臺南公館附屬圖書館として同館内池畔の建物を利用して閲覧を開始す

大正十年三月十日 辜顯榮氏寄附金參萬圓を以て建築起工(建築費貳萬五千圓、圖書購入費五千圓)

大正十年八月三十日 建築落成(煉瓦造二階建スレート葺)

大正十年十月二十六日 落成式舉行翌日より開館す

大正十二年四月 臺南市に移管

大正十二年十二月二十六日 臺南市立臺南圖書館として設立の件を認可せらる

大正十三年四月十六日 財團法人臺灣濟美會より教育獎勵の趣旨により助成金として金參百圓を受け記念文庫創設

大正十三年五月二十日 臺南市立臺南圖書館處務規程を定む

大正十三年八月二十日 館外閲覧規程を定む

昭和二年一月 金壹萬圓を以て階上閲覧室二十七坪階下兒童室二十九坪増築

### 3. 敷地建物及閲覧席

敷地面積	154坪	建坪	118坪	延坪	218坪
普通閲覧室	49坪	特別閲覧室		6坪	
婦人室	6坪	兒童室		23坪	
事務室	16坪	書庫		18坪	階下
其他	92坪			8坪	階上
閲覧席	152席				
普通閲覧席	76	特別閲覧席		4	
婦人席	12	兒童席		60	

### 4. 經費 (昭和十四年度)

總額	9,233圓		
諸給	5,363圓	圖書費	2,250圓
需要費	1,476圓	修繕費	144圓

### 5. 職員

館長(兼務)	1	主事(兼務)	1	主任(囑託)	1
雇員	4	備員	2	製本職工	1
小使	2				

### 6. 藏書 (昭和十四年度)

部	門	和漢書	洋書	計
第〇門	總類	6,255	92	6,347
第一門	哲學、宗教	1,821	22	1,843
第二門	教育	1,604	21	1,625
第三門	文學、語學	3,983	53	4,036
第四門	歷史、地誌	2,600	44	2,644
第五門	法制、經濟、社會、統計、植民	3,137	32	3,169
第六門	理學、醫學	1,185	28	1,213
第七門	工學、兵事	634	4	638
第八門	藝術	641	...	641
第九門	産業、家政	2,227	22	2,249
記念文庫		97	...	97
計		24,184	318	24,502

### 7. 閲覧人員 (昭和十四年度)

種別	館内閲覧	館外閲覧	計
學生、生徒	26,649	2,485	29,134
官吏、公吏、軍人	1,201	316	1,517
教員、宗教家	423	80	503
法務又は醫務に関する業	72	6	78

記者、著述家、藝術家	97	9	106
實業	6,026	1,093	7,119
無職	15,881	813	16,694
其	8,688	176	8,864
の			
計	59,037	4,978	64,015
兒童	35,997	...	35,997
合計	95,034	4,978	100,012
大人	{内地人 16,877 本島人 47,138}		
兒童	{内地人 3,717 本島人 32,880}		
計	100,012		
一日平均	{大人 194名 兒童 109名}	計	303名

8. 閱覽冊數 (昭和十四年度)

部門	館内閱覽	館外閱覽	計
第〇門 總類	35,420	193	35,613
第一門 哲學、宗教	1,846	331	2,177
第二門 教育	2,049	65	2,114
第三門 文學、語學	14,819	6,351	21,170
第四門 歷史、地誌	6,666	733	7,399
第五門 法制、經濟、社會、統計、植民	2,396	212	2,604
第六門 理學、醫學	6,920	114	7,034
第七門 工學、兵事	1,761	198	1,959
第八門 藝術	1,105	123	1,228
第九門 產業、家政	1,997	184	2,181
計	74,979	8,504	83,483
兒童	120,646	...	120,646
合計	195,265	8,504	204,129
大人	{内地人 21,536 本島人 61,947}		
兒童	{内地人 8,297 本島人 112,349}		
計	204,129		
一日平均	{大人 253冊 兒童 366冊}	計	619冊

9. 兒童はどれだけ利用したか (昭和十四年度)

學校別	男	女	計
花園小學校	1,574	605	2,179
南門小學校	687	159	846
附屬公學校	1,699	234	1,933
寶公學校	9,398	1,167	10,565
末廣公學校	5,206	1,049	6,255
港公學校	1,347	263	1,610
明治公學校	5,090	5,343	10,433
竹園公學校	266	300	566
其他	1,097	513	1,610
計	26,364	9,633	35,997
一日平均兒童閱覽人員	109名		

10. 學年別入館兒童 (昭和十四年度)

學年別	男	女	計
第一學年	2,302	922	3,224
第二學年	4,844	1,891	6,735
第三學年	5,966	2,438	8,404
第四學年	5,110	1,704	6,814
第五學年	3,741	1,432	5,173
第六學年	3,156	586	3,742
高等科	148	147	295
幼稚園	50	39	89
其他	1,047	474	1,521
計	26,364	9,633	35,997

11. 兒童閱覽圖書冊數 (昭和十四年度)

部門別	小學校		公學校		其他		計
	男	女	男	女	男	女	
080 總類	2,106	805	32,854	17,153	481	166	53,565

081	{修身、讀方 綴方	102	24	1,420	493	8	2	2,049
082	{學校、學生 入學準備書	4	1	15	10	...	...	30
083	{お伽、兒童劇 童話	1,486	421	11,889	4,107	165	36	18,104
084	{歴史、傳記 地理	321	46	2,939	463	14	1	3,784
085	法制	3	1	28	5	...	...	34
086	理科、算術	130	34	848	144	9	9	1,174
087	兵事	113	10	493	33	8	...	657
088	{體操、遊戯 圖畫、唱歌	1,955	539	29,452	8,712	489	60	41,207
089	農、工、商業	11	4	19	5	...	...	39
	計	6,231	1,885	79,957	31,125	1,174	274	120,646
	一日平均兒童閱覽冊數				366冊			
	兒童閱覽圖書一人平均				3冊			

12. 本館備付閱覽用新聞

臺灣日日新報	臺灣大アジア
臺灣新聞	鹿兒島朝日新聞
臺灣日報	日刊時事寫真通信
臺灣新民報	情クリチツク
新竹新報	更金時新代
高雄新報	黃曲新報
台南新報	淨曲新報
大阪每日新聞	電ときのこ
東京日日新聞	少年
福岡新報	少刷大阪朝日新聞
萬新報	官聖靈時
	報知報
	代

13. 本館備付閱覽用雜誌

改造	新女苑	國際パンフレット通信
日本及日本人	臺灣公論	貨幣
科學知識	Romaji Bungaku	臺灣經濟往來
婦人公論	新竹州時報	臺灣教育
國際寫真情報	キンク	早稻田學報
臺灣貿易月表	婦人俱樂部	東京堂月報
南洋	少年俱樂部	修養
日本公論	考へ方	敬神
野球界	上級英語	新國民文化
講談俱樂部	講演時報	大東文報
受驗界	商店界	詩林
少女俱樂部	臺灣農事報	原生
農業世界	臺灣建築會雜誌	綿工聯統計月報
圖書館雜誌	同光	綿工聯
週間朝日藝報	經濟市場	特許公報
熱帶時報	國曆	商標公報
文部時報	審柘榴	實用新案公報
祖國	？ 6 0 0	南洋情報
高雄州時報	日滿經濟論壇	團研新報
圓通	親民齋	臺灣藝術新博
臺灣の水利	書齋	萬平洋
南瀛佛教	臺灣之産業組合	太子供の國
基隆勸業協會月報	新協江和代	幼年俱樂部
海警	現科學奮報	潭生の科學
臺灣地方行政	實業之日友	國民一年生
聖母の騎士	主婦之學生	國民二年生
臺北商工會議所報	受驗と學出	國民三年生
臺中商工會議所報	日南洋協會雜誌	子供朝
高雄商工時報	富士	科學と模
南方情勢		
雄辯		
教育研究		

14. 雑誌はどれ程読まれたか

(大人部) 自昭和十四年十二月  
至昭和十五年十一月

雑誌名	閲覧回数	雑誌名	閲覧回数
日の出	2,822	受験界	650
富士	2,604	主婦之友	645
講談倶楽部	2,382	雄辯	526
キング	2,225	新女苑	442
小年倶楽部	2,117	科学知識	359
小女倶楽部	2,100	科学叢報	345
受験と学生	1,525	商店界	244
野球界	1,222	上級英語	243
改造	1,073	實業之日本	230
現代	1,012	農業世界	151
考へ方	889	日本及日本人	106
婦人倶楽部	665	教育研究	76
婦人公論	664		
(子供之部)			
国民一年	2,319	幼年倶楽部	1,264
子供のくに	1,821	国民三年	920
潭海	1,525	學生之科学	677
子供朝日	1,408	科学と模型	436
国民二年	1,366		

15. どんな本がよく読まれたか

書名	著譯者	分類	番號
代數學初步	岩切晴二	615	54
魔境の怪人	南洋一郎	3533	45
大同政談	野間清治	3531	22
最も要領を得たる日本歴史	諏訪徳太郎	412	60
昭和十五年問題正解 入學試験	研究社	205	59
寛永御前試合	野間清治	3531	22

改訂 物理学自由	内藤卯三郎	621	44
右門捕物帖 上下	佐々木 味津三	3531	38
黒田騒動	野間清治	3531	22
最も要領を得たる東洋歴史	諏訪徳太郎	404	14
見習にすぐわかる機械工学一般	岡崎堅一	720	25
鳴門秘帖 前後篇	吉川英治	3531	24
登龍代數學 上下卷	松室隆光	615	58
解折幾何學演習 第一	大上茂橋外一名	618	6
平面三角法講義	高村勘	617	12
物理学の要點	中等理學會	621	22
蠢く觸手	江戸川亂歩	3533	22
宮本武蔵 風の巻	吉川英治	3532	494
花と兵隊	火野葦平	4171	41
最も要領を得たる西洋歴史	諏訪徳太郎	405	20
最も要領を得たる外國地理	諏訪徳太郎	461	11
肚で行く	山中峯太郎	174	276
青空ホテル	近江帆三	3531	44
加藤清正	張赫宙	3532	532
紅顔美談	佐藤紅綠	3532	350
最も要領を得たる日本地理	諏訪徳太郎	470	34
新訂 國文解釋法	塚本哲三	320	2
通俗里見八犬傳物語	成光館編輯部	352	20
中等國文(一)徒然草 解釋叢書	松井博信	320	30
新譯 水滸全集 上下卷	久保天隨	354	2
受験 本位 化學の要點 全 孔子論	中等理學會	623	18
最も分り易き動物學	林語堂	181	8
代數の權威 上下	西山熊助夫	650	54
三民主義解説 上卷	柴田信太郎	615	59
もつとも 植物學	犬養健	030	38
萬花地獄	西山熊夫	660	50
新譯 演義三國誌 上下卷	吉川英治	3531	24
	久保天隨	354	4

甲表乙物理學粹 表準據	高田 德 佐	621	51
物理學演習 上下	若 桑 光 雄	621	49
獨逸語手ほどき	松 岡 敏 幸	395	8
精説國文法	塚 本 哲 三	382	25
高等理物學 上卷	竹 内 潔	621	52
趣味の世界數學史物語	鏡 淵 稔	610	10
受験と學習と動物學 全 要領を掴める	中等教育研究會	650	37
英語單語熟語の綜合的研究	赤 尾 好 夫	3935	179
孟子新釋 上下卷	内 野 臺 嶺	182	37
土と兵隊	火 野 葦 平	4173	40
一心太助	野 間 清 治	3531	22
史外巖窟王 上卷	黒 岩 周 六	355	5
史傳	林 心 忘	3531	35
丹下佐膳 上下	高 山 洋 吉	486	4
西藏探検記	大 川 周 明	411	73
日本二千六百年史	天 野 貞 祐	030	38
學生に與ふる書	臺灣總督府	0741	11
臺灣總督府職員錄 昭和十四年	大阪毎日	580	11
毎日年鑑 昭和十四年版	東京日日新聞社		
八百八狸	野 間 清 治	3531	22
朝日年鑑 昭和十四年	大 道 弘 雄	580	13
鐵瓶上京	弘 木 丘 太	3531	44
最新獨逸語講座 第一卷	權 田 保 之 助	395	22
薔薇の騎士	大 佛 次 郎	3532	530
日本人オイン	同	3532	347
猿飛佐助	野 間 清 治	3531	22
涙の握手	水 守 龜 之 助	3532	348
まぼろし峠	佐々木味津三	3531	38
數學隨筆 數のユーモア	吉 岡 修 一 郎	611	2
物理學の問題の正しき解き方	藤 本 源 吉	621	25
スタンダード英和辭典	竹 原 常 太	375	40
旗本退屈男	佐々木味津三	3531	38
花嫁いろは帖	小 此 木 禮 助	3531	44

評判小説心の日月	菊 池 寛	3532	359
漢文講座	岩垂憲徳外二名	261	37
新訂漢文解釋法	塚 本 哲 三	333	15
標準生理衛生精義 解答式	山 家 鐵 五 郎	691	21
寶島	高 垣 眸	355	148
英雄行進曲	佐 藤 紅 綠	3532	466
代數學々び方考へ方と解き方 上下卷	藤 森 良 藏	615	17
水戸黄門 國女の卷	碧 瑠 璃 園	3532	415
微積分學概論	藤 岡 茂	619	11
獨習支那語の學び方 自在	瀧 麟 太 郎	391	14
修身公民科講座	友枝高彦外二名	261	37
秋風五丈原	大 場 彌 平	420	37
覚え易い代數學の講義	根 津 千 治	615	31
父の禮帽	宮 崎 博 史	3531	44
朝日航空講座 上下卷	比 佐 友 香	760	51
百萬人の行進	乾 信 一 郎	3531	44
大岡政談	林 不 忘	3531	35
漢文初歩學び方考へ方解き方講義	塚 本 哲 三	333	32
受験本位の國文法	三省堂編輯所	382	21
少年讀歌	佐 藤 紅 綠	3532	403
新制學生の一般理科 準據	三省堂編輯所	620	5
昭和の海軍物語	中 島 武	790	20
探偵王蛇石博士	矢 野 運 美	3533	23
支那語辭典	宮島吉敏外一名	374	24
甲表乙化學粹 表準據	高 田 德 佐	623	53
化學の第一歩	藤 村 與 市	623	47
中等化學の眞髓 教育	永 海 佐 一 郎	623	58
支那事變戰記 海軍航空職	阿 部 信 夫	760	52
甲表乙日本地理粹 表準據	河 田 四 郎	470	100



初めて学ぶ人の幾何学 上巻	根津千治	616	16
算術代数学講座	田邊晋八外一名	261	37
普通試験問題模範答案集 文官	星野武雄	505	5
一寸法師	江戸川亂歩	3533	12
幾何学三角法講座	木村勉二外一名	261	37
水戸黄門 前、中、後、終篇	碧瑠璃園	3532	61
家なき兒	武藤直治	355	131
大地 第一部	新居格	355	141
ホームズ魔の犬 怪盗探偵	延原謙	355	109
一日漢文解釋 一題	森通	333	49
國際スパイ實話	木村毅	771	26
受験學習參千題考へ方 上下 代數基本	山田常憲	615	52
文學部隊	尾崎士郎	3532	356
會社銀行名鑑 昭和十四年版 商工業者	千草默仙	0796	14
野口英世博士傳	橋輝政	458	81
最新英語の單語 研究	小野圭次郎	3935	145
三角問題解方と着眼點	武田建清	617	9
實いまだ熱せず	横光利一	3532	537
武人の飯塚部隊長の學生時代 典型	山下邦雄	458	138
改訂經濟學大意	津村秀松	540	20
宋美齡	村田孜郎	459	77
國文法の學習と練習	山田園匡	382	26
センチュリー英和辭典	三省堂	375	36
犯罪捜査實話	恒岡恒	3533	44
實驗化學講義と着眼點 推理	渡邊金次郎	623	49
もつとも東洋史 分り易き	八木延身	404	19
萬國の王城	山中峯太郎	3532	346
帝國公法大意 第一分冊 憲法	清水澄	512	19
大日本商工錄	高瀬末吉	901	5
愛の非常線	淺原六明	3532	400
理想の良人	吉屋信子	3531	39

## 16. 子供はどんな本を多く讀んだか

書名	著譯者	分類	番號
出世太閤記	相賀壽次	088	58
完ちゃん	同上	088	57
良寛さま	同上	088	55
浮かぶ飛行鳥	海野十三	083	536
童話五郎正宗 講談	芦谷光久	083	530
ふしぎな櫻ん坊	大木惇夫	083	542
ドラネコと鳥	小川未明	083	519
空襲機密島	山中峯太郎	083	555
ひらがな童話集	鳥崎藤村	083	539
カタカナ竹トンボ 童話	小川未明	083	550
南京城總攻撃	高木義賢	084	239
亞細亞の曙	山中峯太郎	083	552
豪勇飯塚部隊長	高木義賢	084	237
徐州大會戰	同上	084	236
ドイツ物語	樫葉勇	084	234
幼き者の旗	小川未明	083	546
少年愛國者	大木惇夫	083	548
兒童文學讀本 四年	日本兒童文學協會編	081	109
物語二宮金次郎	奥平祥一	083	525
漫畫出世日吉丸 物語	鳥田啓三	088	59
無敵海の荒鷲	高木義賢	084	235
兒童文學讀本 三年	日本兒童文學協會編	081	109
無敵日本軍	武藤貞一	087	22
輸入イソップ物語	酒井朝彦	083	537
日本の子供	小川未明	083	533
乞食王子	太田黒克	083	547
偉人の話 二年	川崎春二	084	100
鎧の兵隊	森田たま	083	541
級長の探偵	川瑞康成	083	529

こども放送童話 三年 の時間	児童文化協會編輯部	083	528
漫画のデパート	茶々羅茶 ン八	088	27
東亞新滿洲文庫 第二篇尋常一、二、三 學年用まんしうでんせつ	石 森 延 男	080	16
漢口大攻略戦	高 木 義 賢	084	238
少年菅原道真	守屋貫秀外一名	084	240
児童文學讀本 二年	日本児童文學協會編	081	109
東亞新滿洲文庫 第四篇尋常四、五、六 學年用生きようとする姿	石 森 延 男	080	16
東亞新滿洲文庫 第六篇尋常一、二、三 學年用まんしうの美しい話	同 上	080	16
こども放送童話 四年 の時間	児童文化協會編輯部	083	528
偉人の話 四年	三 井 信 衛	084	100
漫画物語 孫悟空	宮 尾 し げ を	088	56
愛の一家	サツベル女史著 宮 原 晃 一 郎 譯	083	540
新日本少女文庫 第四篇 國の護り(陸海空)	福 永 恭 助	080	17
夕焼の町	平 澤 克 己	083	527
昭和の海軍物語	中 島 武	087	23
全科小學生寶典	東京教育會編	081	110
小國民年鑑 昭和十四年度版	同 上	081	111
少女文學教室	神 崎 清	083	538
春の教室	横 本 楠 郎	083	544
ヒヨンヒヨン蛙	花 岡 山 人	083	133
子供の戦争の話 ための	櫻 井 忠 温	087	14
子供の軍艦の話 ための	福 永 恭 助	087	12
一太郎物語	橋 本 春 陵	087	2
少年少女偉人 5 英傑叢書 英傑 維新西郷隆盛	岡 木 瓊 二	084	229
偉人の話 一年	三 井 信 衛	084	100
孝子美談	木 戸 喜 一 郎	084	226
三銃士	山 中 峯 太 郎	083	549
児童文學讀本 五年	日本児童文學協會編	081	109
童話集原つば	土 田 耕 平	083	235
東亞新滿洲文庫 第三篇尋常一、二、三 學年用明るい港、黄色風	石 森 延 男	080	16

東亞新滿洲文庫 第六篇尋常四、五、六 學年用滿洲の美談 童話集小鳥の家	石 森 延 男	080	16
イタリー物語	吉 田 絃 二 郎	083	518
父の夢母の夢	荏 原 二 郎	084	233
兒童我輩は猫である	安 倍 季 雄	083	524
海洋冒険物語	平 林 彪 古	083	541
空の王者	南 洋 一 郎	083	553
少年少女 9 源九郎義經 世界文庫	武 富 邦 茂	086	171
東亞新滿洲文庫 第一篇尋常一、二、三 學年用まんしうの子供	佐 藤 一 英	080	14
昆蟲の生活	石 森 延 男	080	16
日滿文親善 カタカナ童話	前 田 晃	086	136
小公子	童話作家協會編	083	554
少年少女偉人 2 海の勇將 東郷元帥 英傑叢書 ヘルソン提督	谷 崎 伸	083	219
少年少女 8 鹽原多助 世界文庫	岡 本 瓊 二	084	183
動物々語	宮 澤 有 爲 男	080	13
少年少女 1 發明美談 美談叢書	大 島 正 滿	086	175
われ等の陸海軍	久 米 元 一	086	131
天體の驚異 子供の科學知識 1	平 田 晋 策	087	13
植物の世界 子供の科學知識 5	吉 田 守 外 一 名	086	177
動物の驚異 子供の科學知識 6	同 上	086	177
地球から天の川へ	同 上	086	177
忠犬ハチ公	小 鹿 青 雲	086	71
東亞新滿洲文庫 第五篇尋常一、二、三 學年用童話と童詩	久 米 元 一	086	158
自然物利用 面白い創作手工藝 變物更生の	石 森 延 男	080	16
ルックネル艦長	菊 池 藤 次 郎	082	59
軍國少年讀本	南 洋 一 郎	087	24
白鳥の騎士	蘆 谷 重 常	087	21
少年少女偉人 1 明治大帝 英傑叢書	近 藤 宗 男	083	159
犬と犬と人の話	岡 本 瓊 二	084	227
日本男子	小 川 未 明	083	509
少年大發明家物語	高 垣 眸	083	543
	久 米 元 一	086	126

少年少女偉人 9 勝海舟	岡本瓊二	084	230
英傑叢書	山田新吾	087	19
少年航空讀本	兒童文化協會編輯部	083	528
こども放送童話 二年の時間	櫻井忠温	087	8
小學生全集 50 陸軍と陸戦の話	格村武雄	083	248
日本兒童文庫 9 世界神話傳説集	大日喜日郎	087	9
日本の海軍	久米元一	086	170
小學生航空讀本の讀む	平田潤雄外一名	086	115
少年科學讀本 10 戦争と新兵器の話	野瀬寛顯	084	169
少年愛國讀本祖國の話	水谷まさる	083	523
少年少年母なればこそ			
薫育讀本			

17. 時局關係圖書及雜誌

(一) 一般圖書

○ 國民精神

書名	著譯者	分類	番號
國民精神總動員原義	三浦藤作	172	139
君が代と萬歲	和田信二郎	172	141
國民精神總動員教程	景山鹿造	172	143
皇道日本の世界化	徳富猪一郎	172	151
我等の大日本帝國	植松泰安	172	152
實踐皇民道	牧野秀	172	155
我が國體と國家	高野弘	172	157
國民精神の大本	岩垂憲徳	172	158
武士道寶典	佐伯有義	172	159
皇民道德原論	馬場文翁	172	161
日本精神史講話	河野省三	172	162

○ 政治

新支那建設の政治經濟問題 —現地調査報告—	國際經濟學會編	5041	4
南進政策の再認識	飯澤章治	510	86
現代政治の危機	木原通雄	510	87
日本最近對外政策論攷	後藤勇	5262	22
	池崎忠孝		

現代外交講話	長谷川了	5262	24
昭和の青年と世界展望	下位春吉	5263	139
皇民の書	武藤貞一	5263	155
日本へ寄せる書	相馬基編	5263	157
東亞聯盟論	宮崎正義	5264	112
新東亞の建設	平竹傳三	5264	114
大陸國策—現地に視る—	比佐友香編	5264	115

○ 經濟

フランス社會經濟史	大淵彰三	542	144
革新經濟講話	鈴木憲久	542	145
ドイツ經濟の驚異	ハンス・ブリスト著 加倉井肅之譯	542	146
日滿支經濟懇談會報告書	中沖壽	542	148
經濟アロツクと大陸	佐藤弘	542	149
日本の經濟はどうなるか	相馬基編	542	150
日本經濟をどうするか	河合良成	542	151
アメリカ經濟史	ハーロールド・ユー・ファル クナー原著 岡本廣作譯	542	152
ナチス經濟建設	長守善	542	153
物價變動要覽	伊藤武	545	64
自由價格と統制價格	有井治	545	68
生きてゐる經濟學	草田時雄	545	69
國際金融論	服部文四郎	545	70
銃後の財政經濟	賀屋與宜述	552	19

○ 軍事

空中襲撃に對する國民の準備	宇山熊太郎	760	41
空中戦	大場彌平	760	42
敵機來らば	高橋常吉	760	43
支那事變海軍航空戰	阿部信夫	760	52
變戰記	山本みのる譯	771	21
スパイ戰の秘密	谷名輝哉譯	771	22
少女間諜の手記	大場彌平	771	28
われ等の空軍	木村喜市編	771	32
國際スパイ戰	比佐友香編	771	33
世界の海軍	中原稔生	771	34
世界の空軍—その現勢及び將來—			

近代戦と国防	原 嘉 章	773	9
海陸軍大空爆戦記	鎌 川 興 五 郎	773	10
支那共産軍の現勢	深 田 悠 藏	774	1
兵器讀本	青 木 保	776	11
海軍讀本	阿 部 信 夫	790	15
昭和の海軍物語	中 島 武	790	20
帝國海軍	猪 伏 清	790	21
支那事變に於ける帝國海軍の行動	海軍省海軍軍事普及會	793	2

## ○ 支 那 研 究

建設に甦る新支那大觀	馬場春吉 共編 宇都宮謙	420	36
支那近代百年史 上卷	佐野袈裟美	420	39
欽傳汪兆銘	澤 田 謙	459	80
大陸支那の現實	藤 田 元 春	480	34
支那全土	片 山 繁 雄	480	35
海南島全貌	後 藤 元 宏	484	19
海南島讀本	南 支 調 査 會	484	20
南支五省の現勢	馬 場 鐵 太 郎 村 上 計 二 郎	484	21
現代支那の政治と人物	波 多 野 乾 一	5264	107
支那經濟事情講話	東京商工會議所	543	14
支那社會の研究—社會學的考察—	清 水 盛 光	560	21
支那今日の社會相と文化	後 藤 朝 太 郎	563	93
支那の男と女現代支那の生活相	同 上	563	97
支那に於ける婚姻及び家族史	天野元之助譯	568	54

## ○ 支 那 事 變

各社特派員 決死の筆陣	支那事變戰史	宮居康太郎編	4173	29
支那事變戰史		同 上	4173	29
婦人從軍記		山 岸 多 嘉 子	4173	30
日本總力戰夜話		寺 田 彌 吉	4173	42
廣安門		櫻 井 德 太 郎 述	4173	43
ペンの從軍		根 津 菊 治 郎	4173	45
日本の進路		村 松 秀 逸	4173	46
支那事變		山 本 三 生 編	5264	89

支那を屈するには	石 丸 藤 太	5264	90
支那事變解決論	肥 田 琢 司	5264	99
新東亞の建設	平 竹 傳 三	5264	114
支那事變の前途は悲觀か樂觀か	野 依 秀 市	5264	118

## ○ ロ シ ャ 研 究

ロシア文化の研究	米川正夫外二名編	340	82
ソヴェトロシア讀本	茂 森 唯 士	492	26
露西亞大觀	浮 田 和 民 譯	492	27
ソ聯報告	布 施 勝 治	492	29
東西よりロシアを觀る	近 藤 義 春	5263	48
ソ聯の現状とその批判	清 澤 冽	5263	142
眞相ソ聯	新 居 格 譯	5263	144
躍進ソヴェト經濟讀本	直 井 武 夫	543	17
赤露の戦慄	時 事 新 報 社	562	33
裏切られた革命	荒 畑 寒 村 譯	562	34
嵐を蒔くソ聯共産主義の禍亂	吉 森 悟 市	562	37
ソヴェイトの重工業	小 嶋 精 一	700	8
赤軍の解剖	遠 藤 一 郎	773	12

## ○ 國 際 關 係

空襲と國際法	田 岡 良 一	5261	10	
政治・軍事・國際事典	今來陸郎外三名	5261	11	
教育・經濟	野 口 謹 次 郎	5261	12	
上海共同租界と工部局	渡 邊 義 雄	5261	12	
日獨防共協定の意義	松 岡 洋 右	5262	19	
新東亞建設を帝國外交條約輯 中心とせる	東京行政學會	5262	23	
太平洋を繞る國々	小野鐵二外一名	5263	125	
世界は日本をどう見る	國際情勢研究會	5263	134	
包圍された日本	石 丸 藤 太	5263	137	
英國敢て挑戦するか	池 崎 忠 孝	5263	140	
歐洲の内幕	大 江 專 一 譯	5263	152	
大戰後世界の時局讀本	大 岡 市 藏	5263	153	
動きと支那	樋 口 正 徳	5263	154	
火線上の歐洲	世界危機の解剖	原 勝	5263	156
世界の危機と日本				

次の戦争を豫想する	齋藤直幹	5263	158
支那事變と列國の論調	姫野徳一	5264	94
赤色アジアか防共アジアか	中保與作	5264	95
支那は生存し得るか	村田孜郎 共譯	5264	102
日本と新國際主義	中村常三 田村徳治	5264	119

(二) 支那事變關係雜誌記事索引 (本館備附)

○ 政治、論說

阿部内閣の運命	(岩淵辰雄)	改	造	12月
汪政權成立への展望	(田知花信量)	改	造	12月
國共關係の新展開	(田中香苗)	改	造	12月
最悪の場合に備へよ	(小山田劍南)	日	本	及人 11月
支那に於ける王道と霸道	(田崎仁義)	同	上	12月
事變處理の全態	(馬場恒吾)	改	造	12月
新興日本の進むべき目標に就いて	(中柴惠洲)	日	本	及人 12月
政治的危機の實體	(木原通雄)	改	造	12月
政黨聯立は可能なりや	(山浦貫一)	同	上	12月
長期建設と新文化創造	(佐藤清勝)	日	本	及人 11月
残された援將據點	(知識眞治)	週	刊	朝日 11四
新しき生命の探究	(高神覺昇)	雄	辯	1月
國內政治の動向	(津久井龍雄)	改	造	12臨
近衛聲明一週年	(新明正道)	同	上	1月
時局と政治の重責	(三土忠造)	雄	辯	1月
世界平和再組織の基礎條件	(古垣鐵郎)	改	造	1月
孫文主義と共產主義	(宮澤俊義)	同	上	1月
何故に中央政府を組織するか	(周佛海)	同	上	1月
阿部首相に直言す	(清瀬一郎)	現	代	2月
汪政權成立の次に來るもの	(梨本祐平)	改	造	2月
汪精衛氏と洪秀全を語る	(佐藤俊子)	同	上	2月
國家總力戰の基調	(宮澤裕)	雄	辯	2月
周佛海氏と和平運動を語る	(稻村隆一)	改	造	2月
新東亞建設と南洋	(匠嵯胤次)	日	本	及人 1月
新内閣の關係	(山浦貫一)	改	造	2月
政黨に與ふる書	(馬場恒吾)	現	代	2月

政府不信認は何故起きた	(白紙法)	週	刊	朝日 1三
戦争の形而上學	(木村龜二)	改	造	2月
蘇聯の動向と我南進國策	(吉村忠三)	日	本	及人 1月
東亞新秩序と三民主義の再檢討	(七理重惠)	科	學	知 識 1月
日支事變の將來	(安井正太郎)	日	本	及人 1月
日支事變の前途に關し國內同胞に懇ふ	(馬場逸雄)	改	造	2月
日本政治の再建	(馬場恒吾)	同	上	2月
米内内閣の性格と任務	(阿部賢一)	同	上	2月
汪政權の誕生近し	(村田孜郎・吉岡文六)	同	實	業 2上
議會解散論	(馬場恒吾)	改	造	3月
國民的政治體制を確立せる	(齋藤隆夫)	同	上	1臨
齋藤問題と我國の言論	(津久井龍雄)	同	上	3月
支那の現情勢	(胡適)	同	上	3月
新支那中央政權の本質	(横田實)	同	上	3月
新首相米内光政	(伊藤金次郎)	同	實	業 2上
新内閣登場の裏おもて	(觀潮樓主人)	日	本	及人 3月
第三の南北線を築け	(武富邦茂)	同	上	3月
第七十五議會論	(復藤勇)	改	造	1臨
青島會議	(田中香苗)	同	上	1臨
南洋華僑問題	(大槻茂)	日	本	及人 2月
日支共同前進と第三國關係	(高木陸郎)	同	上	2月
民族自決と民族融合	(清水芳太郎)	雄	辯	3月
米内内閣の重點	(關口泰)	改	造	1臨
國策完遂協力運動の提唱	(社説)	現	代	4月
今議會に見る保守・急進の諸相	(觀潮樓主人)	雄	辯	4月
齋藤問題と政黨再建	(馬場恒吾)	改	造	4月
蔣介石の布告を中心として	(平貞藏)	同	上	4月
新中央政府の成立と使命	(太田字之助)	雄	辯	4月
全國民に告ぐるの書	(蔣介石)	改	道	4月
汪、蔣政權と民族運動	(石濱知行)	同	上	3臨
官僚獨善の非難について	(提俊雄)	日	本	及人 5月
議會・豫算・修養	(三土忠造)	同	實	業 4下

強力か強権か	(岩淵辰雄)	改造	5月
久原房之助從横談	(記者)	雄辯	5月
工業資源になる海藻	(高橋武雄)	科學叢報	5月
國境建設論	(和田日出吉)	改造	5月
米と肥料と木炭	(島田俊雄)	現代	5月
今議會を通過した重要法案	(水上祐三)	雄辯	5月
誌上公開演說大會	(清瀬一郎)	同上	5月
時局對談	(久原房之助・岩淵辰雄)	改造	3臨
時事斷想	(小川義昭)	日本及人 日本	5月
實業家と政治	(後藤國彦)	實業 日本	4上
社會時評	(下村湖人)	現代	5月
重慶に與ふ	(久原房之助)	改造	5月
新國民政府を繞りて(對談)	(横田實・吉岡文六)	實業 日本	4下
新政府を語る對談會	(孫滉・松本忠雄)	雄辯	5月
新中央政府の諸問題	(西尾示郎)	改造	3臨
新中央政府の成立あめぐりて	(神尾茂)	雄辯	5月
新中央政府の全貌	(横田實)	現代	5月
新秩序建設の出發點	(笠間泉雄)	雄辯	5月
政局の様相と内大臣問題	(大島甚三)	日本及人 日本	5月
大陸經論と昭和維新	(山根謙一)	同上	5月
第七十五議會を語る	(柏木三郎)	實業 日本	4上
第七十五議會を總觀す	(河野密)	現代	5月
東亞安定への前進	(波多野鼎)	改造	5月
東亞協同體物語	(杉山平助)	同上	3臨
南京新政府と日本の新體制	(今中次麿)	同上	5月
日本政治の停廢性	(津久井龍雄)	改造	5月
日本の政治に何を望むか	(名士回答)	實業 日本	4下
米紙に見る東亞の新展開	(記者)	改造	5月
八木沼丈夫氏縱横談	(同上)	現代	5月
和平建國の政治秩序	(杉村廣藏)	改造	5月
失はれた政治力	(後藤勇)	同上	6月
嘘と形式	(津久井龍雄)	改造	4臨

興亞政治への要望	(岡田忠彦)	改造	4臨
國民政府今後の諸問題	(伊地知進)	同上	6月
國民黨と中國共產黨	(青葉)	同上	6月
時事解説	(東京能率研究所)	商店界	5月
政界時評	(阿武隈次郎)	科學知識	5月
呈汪兆銘書	(小山田劍南)	日本及人 日本	6月
東亞協同體論	(山梨富士雄)	同上	6月
南京還都に際して	(大倉公望)	同上	6月
派遣軍將兵に告ぐを讀む	(平貞藏)	改造	6月
戒むべきは獨善	(増田義一)	實業 日本	6上
強力新黨結成への陣痛	(三武鏡史)	日本及人 日本	7月
時局我觀	(河上丈太郎他二名)	雄辯	7月
新體制運動の動向	(後藤勇)	改造	7月
新黨は出来るか	(來間恭)	週刊朝日	6四
世界新情勢と日本	(須磨彌吉郎)	現代	7月
政治評論家の憂鬱	(津久井龍雄)	改造	7月
政黨解消と日本政治の方向	(杉森孝次郎)	實業 日本	6下
陳公博縱横談	(西田當元)	現代	7月
當來の新政治體制と其の任務	(阿部賢一)	改造	7月
内閣及議會制に關する考察	(副島義一)	日本及人 日本	7月
西に獨逸・東に日本	(永井柳太郎)	雄辯	7月
勞働總同盟は何處へ行く	(大谷竹雄)	改造	7月
新しい政治體制とは	(矢部貞治)	週刊朝日	7二
貴族・官僚・革新	(松本筑摩)	改造	7臨
近衛公と新政治體制	(戸澤鐵彦)	改造	8月
新政治體制參畫者に警告	(西陞野老)	日本及人 日本	8月
新體制運動と國民心理	(船山信一)	改造	8月
新體制に關聯して	(平貞藏)	同上	8月
新黨と久原	(木村儀兵衛)	同上	7臨
新黨輿論	(讀者應募)	改造	8月
世界の運命と日本の望	(蠟山正道)	同上	8月
政治體制の整備と新黨運動	(佐々木惣一)	同上	8月

大亞細亞主義實現時機に就て	(同 化 人)	同	上	8月
東亞モンロー宣言	(伊 藤 正 徳)	同	上	8月
永田町政談	(瀝 東 散 人)	同	上	7臨
日本と敢然と行け	(白 鳥 敏 夫)	同	上	7上
輸出路の遮断と重慶政權の末路	(神 田 正 雄)	同	上	7下
高度國防國家の労働政策	(菊 地 勇 夫)	改	造	9月
近衛公に何を期待するか	(小汀利得他一氏)	改	造	8下
近衛内閣に望む	(八 名 士)	雄	辯	9月
近衛内閣の使命と日本の將來	(津 久 井 龍 雄)	同	上	9月
近衛内閣の出現と各國への反響	(長 谷 川 了)	同	上	9月
近衛の再登場	(瀝 東 散 人)	改	造	8臨
時局常識大學	(三島康夫他一氏)	改	造	8下
新政治體制(對談會)	(有馬頼寧・三木清)	改	造	8臨
新政治體制運動と財界人	(北 村 三 郎)	改	造	8下
新政治體制と軍部	(中 野 登 美 雄)	改	造	9月
新政治體制の構想	(林 廣 吉)	同	上	8臨
新政治體制の生成	(妙 法 寺 三 郎)	同	上	9月
新體制と近衛内閣の全貌	(山 莊 隠 士)	現	代	9月
新體制と財産	(栗 林 正 修)	改	造	8下
新内閣新體制と財界	(北 川 一 夫)	改	造	8臨
青年の興起と新政治體制運動	(細 川 嘉 六)	同	上	8臨
政治家といふものに就て	(山 浦 貫 一)	同	上	8臨
政治と知性(對談會)	(風見章・横光利一)	同	上	8臨
政友會創立の頃	(望 月 圭 介)	同	上	8臨
統帥と政治	(齋 藤 瀏)	同	上	8臨
堀切善次郎氏は語る	(河 田 榮)	商	店	8月
アジア民族の史的發展と大陸政策への省察	(細 川 嘉 六)	改	造	10月
一大反省を望む	(長谷川 久 一)	日	本	9月
歐洲急旋回と重慶態の轉換	(石 原 圓 爾)	改	造	10月
貴族政治家	(葛 西 清 重)	同	上	9月
軍官民一體論	(津 久 井 龍 雄)	同	上	10月
近衛公の肚	(瀝 東 敬 人)	同	上	9月

近衛内閣地方制度の改善	(西 田 卯 八)	日	本	及	9月
近衛内閣の歴史的使命	(山 根 謙 一)	同	上	人	9月
新政治體制と憲法	(河 村 又 介)	改	造	上	10月
新政治體制への進路	(林 廣 吉)	同	上	上	9月
新體制下の新黨運動の展開	(清 河 政 雄)	改	造	業	9上
新體制に於ける官僚の役割	(濱 田 尙 友)	改	造	本	10月
新體制にこの構あり	(河 田 榮)	商	店	界	9月
新體制の産室覗く	(片 岡 貢)	雄	辯	雄	10月
人的資源と國勢調査	(美 濃 口 時 次 郎)	改	造	日	10月
世界新秩序と東亞共榮圈	(匡 磋 胤 次)	日	本	及	9月
東亞安定と日本の決意	(末 次 信 正)	現	代	人	10月
東亞共榮圈の確立	(匡 磋 胤 次)	改	造	日	9月
南方共榮圈を巡りて	(野 村 吉 三 郎)	雄	辯	日	10月
日本政治の方向	(中 村 哲)	改	造	本	9月
新しき支那の動向	(横 田 實)	同	上	及	11月
葛生能久氏を訪ねて	(松 原 三 丁 雄)	雄	辯	人	11月
經濟閣僚會議の役割	(鳥 田 晋 作)	改	造	日	11月
公益優先と法律	(末 川 博)	改	造	業	10上
皇國独自の新體制	(佐 藤 清 勝)	日	本	及	10月
近衛新體制の目指すもの	(野 村 重 臣)	日	本	新	11月
時局知識	(加 藤 重 雄)	婦	人	畫	10月
重大時局に直面して	(近 衛 文 磨)	雄	辯	報	11月
職場と政治	(鶴 島 瑞 夫)	改	造	日	10臨
新體制と大政翼賛會	(後 藤 勇)	同	上	及	11月
新體制と文化運動	(今 日 出 海)	同	上	人	10臨
新體制の思想	(内 田 繁 隆)	改	造	日	10臨
新體制の實際的動き	(原 戸 英 治 他 三 氏)	改	造	業	10上
新體制の二段的發足	(矢 部 週)	改	造	日	11月
スターマー・山本實彦對談	(記 者)	同	上	及	11月
青年と政治	(司 會・細 川 嘉 六)	同	上	人	10臨
大政翼賛の区道	(中 野 俊 郎)	週	刊	朝	10二
農村と新體制	(横 尾 徳 三 郎)	日	本	及	10上

○ 國 際 ・ 外 交

日米關係の本質	(杉森孝次郎)	改 造	12月
ノモンハン事件の顛末	(宮本 基)	同 上	12月
米國は日本に何を求めるか	(W. R ウイルス)	實 業 日 本	11下
海外に於ける邦人子弟の教育(續)	(在ブラジル・葛岡唯雄)	教育研究	12月
言論政策と通信技術	(松前重義)	科學畫報	1月
國防線に立つ大電力放送	(溝上 銈)	同 上	1月
ソ聯の動向を探ぐる	(津村秀松)	實 業 日 本	12上
野村外交論	(白木正之)	改 造 日 本	12臨
米國の對日感情を語る	(鶴見祐輔)	實 業 日 本	12上
アメリカ人と支那事變	(須磨彌吉郎)	日 本 雄 辯	2月
世界の情勢と日本の進路	(中野正剛)	同 上	2月
ソ聯は皮膚を更へる	(馬場秀夫)	婦 人 畫 報	2月
日米外交打開策	(田村幸策)	實 業 日 本	1下
日米無條約時代となれば日本經濟にどう影響する	(金子鷹之助)	同 上	1下
日本の新世界政策の一面	(鶴見祐輔)	日 本 雄 辯	2月
ノモンハン事件の重大意義	(入江種矩)	日 本 及 人 本	1月
米國人の心を掴む	(澤田 謙)	實 業 日 本	1下
米内内閣の外交に期待す	(町田梓樓他五氏)	改 造	2月
揚子江開放問題の検討	(山崎靖純)	改 造	2月
淺間丸事件	(石丸藤太)	實 業 日 本	2下
淺間丸事件を斯く見る	(清瀬一 郎)	日 本 雄 辯	3月
淺間丸事件を衝く	(稻原勝治)	現 代	3月
淺間丸事件と海軍戰略	(伊藤正徳)	改 造	3月
淺間丸事件批判	(三枝茂智)	同 上	1臨
對米有田外交論	(田村幸策)	同 上	1臨
對米認識の統一	(小林順一 郎)	日 本 及 人 本	2月
獨逸依存の言説の理否	(蟻川 新)	同 上	2月
何が此の問題を解決するか(淺間丸事件)	(清瀬一 郎)	改 造	1臨
日ソ兩國はどこまで接近するか	(馬場秀夫)	實 業 日 本	2上
日米通商條約失効の影響	(清澤 洩)	改 造	1臨

日本戰時外交談義	(芹田均・清澤洩對談)	實 業 日 本	2下
目撃した淺間丸事件の真相	(長谷川 正道)	改 造	1臨
渡部淺間丸船長の報告	(記 者)	同 上	1臨
淺間丸事件と媚態外交の本質	(清瀬一 郎)	日 本 及 人 本	4月
眞性な敵性と疑似敵性	(松永 材)	同 上	4月
日米關係の悪化とその改善策	(田村幸策)	日 本 雄 辯	4月
極東の情勢	(W. キヤツスル)	改 造	5月
支那新政權成立後の列強の動き	(稻原勝治)	現 代	5月
新政府を否認する英米	(横田高明)	改 造	5月
米國の不承認政策	(伊藤正徳)	改 造	5月
國際新秩序論	(堀 眞 琴)	同 上	6月
上海租界と英國勢力	(西尾示 郎)	同 上	4臨
スターリンは支那を賣渡すか	(エドガア・スノウ)	同 上	4臨
英米極東の内幕	(河上 清)	同 上	7月
佛印と蘭印の外交	(伊藤正徳)	同 上	7臨
救世軍の謀略戰	(永松淺造)	同 上	9月
強力外交論	(堀 眞 琴)	同 上	8臨
事變外交の轉換	(宮本太 郎)	同 上	8臨
ソ聯の動きと日ソの外交	(稻原勝治)	現 代	9月
對世界政策確立の要諦	(鈴木東 民)	改 造	8臨
日英人逮捕事件の國際法的考察	(大平善 梧)	同 上	9月
日本の前進と南太平洋	(高橋三 吉)	現 代	9月
米國は日本をどう見てゐるか	(前田多 門)	同 上	9月
英國打倒論	(本領信 治 郎)	實 業 日 本	9上
英佛植民地と支那人の覺醒	(戸田新 二 郎)	改 造	9月
外交新體制論	(古田德 次 郎)	同 上	9月
霞ヶ關異動論	(永田一 角)	同 上	10月
英國崩壞後の獨ソ關係と日本	(馬場秀 夫)	實 業 日 本	10上
英米合作と太平洋問題	(叵 瑛 胤 次)	日 本 雄 辯	11月
英米合作と日本	(聽 濤 克 己)	改 造	10臨
空前の國際危局突破に霞ヶ關鐵壁の外交陣	(佐々木 盛 雄)	現 代	11月
國際新情勢と我が對支策	(長野 朗)	改 造	10臨
三國條約と米國の動き	(稻原勝 治)	同 上	11月



三國同盟と英米合作	(楠山義太郎)	改造	11月
三國同盟と東亞共榮圈	(石原廣一郎)	同上	11月
三國同盟と日ソ關係	(具島兼三郎)	同上	11月
三國同盟の活用	(清瀬一郎)	現代	11月
時局説問・佛印の進駐と東亞の新事態・日本外交の轉換と國內政治	(諸氏)	改造	10臨
新政治體制と外交	(金内良輔)	日本及人	10月
新日本外交の發足	(清澤洵)	婦人公論	11月
樞軸外交の發展性と日本	(前原光雄)	改造	10臨
樞軸強化と日ソ外交	(丸山政男)	同上	10臨
世界の情勢と日本の前途	(伊藤述史)	現代	11月
ソ聯邦とアジアの將來	(ステルンベルグ)	改造	10臨
大太平洋和戰の鍵	(伊藤正徳)	同上	11月
日ソ提携果して可能か	(吉村柳里)	日本及人	10月
日獨伊三國同盟	(下村海南)	主婦之友	11月
日獨伊三國同盟と國際問題	(田村幸策他三氏)	實業之本	10下
日獨伊三國同盟と日本經濟	(金原賢之助他三氏)	實業之本	10下
日獨伊三國同盟の意義	(鈴木庫三他三氏)	週刊朝日	10二
日米外交の再検討	(宮田光雄)	改造	11月
日米關係の前途	(馬場恒吾)	同上	11月
日米問題と太平洋	(高橋三吉)	實業之本	10下
フィリッピンの地位	(友岡久雄)	改造	10臨
比律賓の抗日敵性	(影山知二)	日本及人	10月
佛印進駐と日本の決意	(清瀬一郎)	改造	10臨
米國の英領租借と日本の對英米外交の今後	(三島康雄)	實業之本	10月
蘭印の現状を視る	(來問恭)	實業之本	10下
わが南進と國際情勢	(前原光雄)	日本及人	10月
我が南進策と米國	(高橋三吉)	改造	10臨
○ 軍事、國防			
女スパイ物語 (一)	(間下長一)	週刊朝日	10五
女スパイ物語 (二)	(同上)	同上	11一
空中戦闘の實際	(山崎好雄)	科學叢報	1月

戰時に於ける自動車の役割	(松本熊吉)	科學と型	12月
轉換期に立つ陸軍	(濱田尙友)	改造	1月
米國の海軍大擴張	(棟尾松治)	週刊朝日	12三
八萬トン大戰艦の出現	(石丸藤太)	同上	1四
飛行機對軍艦の戦闘方式	(山崎好雄)	科學叢報	2月
科學戰と思想戰	(小池重)	科學知識	2月
空中戦闘の武器	(間崎・好雄)	科學叢報	3月
軍艦に裝備してある光學兵器	(吉見勇助大佐)	科學と型	3月
戰爭と戰疫	(廣瀬彦太大佐)	科學知識	2月
興亞聖業と機械化國防	(三橋濟)	雄辯	5月
防空防火對策と煉瓦建築	(伊藤五郎)	科學知識	4月
滿洲國軍見聞記	(小林知治)	雄辯	5月
死闘三十分の空中戰	(片岡喜作曹長)	現代	6月
新支那の海軍	(古川哲郎)	科學知識	5月
空軍第一か海軍第一か	(伊藤三郎)	子供の學	7月
自動車部隊の決死奮闘記	(秋田恭雄)	雄辯の學	7月
戰爭と資源	(作井誠太)	子供の實業	7月
作戰の現状と事變の今後	(中島公三)	實業之本	7上
秘密戰と國民精神	(渡邊富士雄)	改造の學	9月
砲兵とその戦闘法	(野村恭雄中佐)	子供の學	9月
英獨空戰の大結	(佐藤喜一郎)	改造	10月
廣東の防空施設	(森田久)	科學知識	9月
スパイは何處にでもある	(渡邊富士雄)	實業之本	9上
防空と水道	(蓮池勇)	科學知識	9月
皇軍の佛印進駐と重慶政府	(中島鈺三)	雄辯	11月
皇軍佛印へ進駐	(中野五郎)	週刊朝日	10一
シンガポール重要性	(關根郡平)	現代	11月
將來戰と科學兵器	(淺田常三郎)	科學知識	10月
日獨伊同盟と太平洋戰爭	(石丸藤太)	實業之本	10下
○ 財政・經濟・産業			
歐洲戰の長期化と日本經濟	(小島精一)	實業之本	11下
計畫經濟と世界觀の問題	(大熊信行)	改造	12月

興産産業に於ける蠶絲業の新役割	(松角久三郎)	改	造	12月
「米」の問題はどうなるか	(加賀卯之吉)	實	業	11下
事變解決と米國の動き	(鹿島守之助)	同	上	11下
食糧異變と其の對策	(四宮恭二)	改	造	12月
ドルリンク切換と物價統制	(郷司浩平)	同	上	12月
日本資本主義發達史の諸特徴	(土屋喬雄)	同	上	12月
日本農村と國土計畫	(小野武夫)	同	上	12月
物價政策第三期	(小汀利得)	同	上	12月
物資統制下の小賣商人 と主婦の對策座談會	(米島岩本氏他七氏及三女史)	主	婦	之
物資の不足と禪的生活	(山田靈林)	實	業	11下
磅リンクから弗リンクへ	(服部文四郎)	同	上	11下
價格統制はどこまで進むか	(渡邊鏐藏)	同	上	1上
經濟の危機とその克服策	(本位田祥男)	同	上	12上
現下財政經濟の打開策	(久原房之助)	改	造	1月
抗戦力としての支那經濟建設	(石濱知行)	同	上	1月
今後の液體燃料	(足立英夫)	科	學	1月
卅億水準通貨膨脹論	(金原賢之助)	實	業	1上
事變とインフレの深度	(大口喜六)	實	業	1上
世界のインフレ化と日本經濟	(小島精一)	同	上	12上
統制經濟下に於ける日本農業	(東畑精一)	改	造	1月
日本インフレの徹底的研究	(高木壽一、勝田貞次)	實	業	12上
日本戦時經濟縱横談	(高橋龜吉)	同	上	12上
切符制	(倉本長治他二氏)	商	店	界
米の新配給組織	(宮川三與藏)	同	上	2月
資金吸收購買力抑制策として富 籤は可か否か	(二十五名士)	實	業	1下
税制改革とサラリーマン生活	(原祐三)	婦	人	公
戦争と成金	(染谷萍人)	實	業	1下
代用木炭は斯うして出来る	(長谷川孝三、三宅雄)	科	學	2月
統制經濟を強化徹底せよ	(養堂處士)	日	本	1月
日本工業のこれから	(藤原銀次郎)	實	業	1下
百億豫算と新增税	(下村海南)	主	婦	2月
物價政策から物資政策へ	(勝田貞次)	雄	辯	2月

インフレーションと財政	(木村禧八郎)	改	造	1臨
インフレと闘ふ米内内閣	(阿部賢一)	同	上	3月
矯角殺牛的な物價對策	(眞木傳五郎)	日	本	3月
現下日本經濟の展望	(大口喜六)	改	造	1臨
これからの株式はどうなる座談會	(福田正治他五氏)	實	業	2上
航空機用ガソリンはどうして作 られるか	(堀口博)	科	學	3月
國力増進の消極的國策	(杉田直樹)	科	學	2月
櫻内財政の性格批判	(金原賢之助他二氏)	實	業	2下
銃後國民の覺悟	(小林順一郎)	日	本	3月
女性は職業に進出してゐるか	(金子しげり)	日	本	3月
新經濟三大區への要望	(土倉宗明他二氏)	雄	辯	3月
戦時下のターム工業	(齋藤永吉他三氏)	科	學	3月
戦時代用食の話	(原徹一)	雄	辯	3月
續戦火の巴りに残る	(今西明子)	新	女	3月
動力饑飢と戦時經濟の再建	(小島精一)	改	造	3月
二千六百年の經濟界	(同上)	雄	辯	3月
日米通商條約廢棄とその後に來 るもの	(棟尾松治)	週	刊	2-
日米無條約後の具體的影響	(上坂西三、竹内謙三)	實	業	2下
日本の經濟はどう動いてゐるか	(木村禧八郎)	婦	人	3月
非常時日本經濟の全貌	(小島精一)	新	女	3月
補助金政策の新性格	(木村禧八郎)	改	造	3月
アジア大陸と南洋との戦時資源	(西田卯八)	日	本	4月
悪性インフレを如何に防ぐか	(大口喜六)	雄	辯	4月
嵐のあと	(有馬頼寧)	改	造	4月
インフレーションとは?	(記者)	子	供	4月
愈よ實施される切符制	(小高章)	週	刊	2-
孔子の經濟思想	(田崎仁義)	日	本	4月
櫻内財政の性格と百三億豫算	(高木壽一)	實	業	3月
産組を動かす人物	(柿ノ木一郎)	週	刊	3三
事變處理と百三億豫算	(川崎克)	實	業	3月
時局に躍る静岡下駄	(星野不二)	同	上	3月

重慶政權の抗戦力を衝く	(竹内夏積)	實業	之本	3月
重点主義と鐵鋼株の再検討	(記者)	同上	同上	3月
生産力擴充計畫の再検討	(野崎龍七)	改造	同上	4月
税制はどう解決されるか	(辻眞)	商店界	同上	3月
戦時下に於ける商店の科學的經營法	(田中要人)	實業	之本	3月
電力節約の一提案	(岡崎久次郎)	同上	同上	3月
日本經濟の打開策	(有馬頼寧・岡田徹對談)	商店界	同上	3月
人を大切に使う時代	(吳松周吉)	實業	之本	3月
物價統制改組を繞りて	(吉葉常三)	同上	同上	3月
藤原商相「適正價格」論	(牧野輝智)	同上	同上	3月
藤原物價政策の立場	(波多尙)	改造	同上	4月
矛盾だらけの物價政策	(奥田一郎)	週刊朝日	3三	
インフレ對策としての株式	(奥村綱雄)	實業	之本	4下
かくして滿洲國は米を切符制にした	(瀬戸崎治彌)	商店界	同上	4月
貨幣の個別的な性格とインフレ對策	(山口茂)	改造	之本	5月
擴大化された物價機構	(吉葉常三)	實業	之本	4下
これからの投資(對談)	(色川俊次郎、高垣五一)	同上	同上	4上
サラリーマンは何故貧乏するか	(佐伯叔作)	同上	同上	4上
財政計畫の樹立	(永田清)	改造	之本	3臨
品不足を乗り切るには	(宮入覺眞、小沼昇)	實業	之本	4上
新所得税問答	(田中豊)	同上	同上	4下
新税法と國民生活	(片山哲)	改造	之本	5月
新東亞建設と資源開發	(加茂正雄)	日本及人	同上	5月
生鮮食料品の新配給案に關して	(藤島俊)	商店界	同上	4月
精神の戦時經濟	(ダアレリイ)	改造	之本	3臨
戦時經濟と國民生活	(櫻内幸雄)	實業	之本	4上
増税が株式に與へる影響	(福田正常)	同上	同上	4下
大衆とボロ株	(染谷萍人)	同上	同上	4下
手不足を乗り切るには	(森濱三郎、高木三九郎)	同上	同上	4上
日本インフレの徹底的研究	(勝田貞次他三氏)	同上	同上	4上
日本統制經濟談義(對談)	(小汀利得、田中貢)	同上	同上	4上
物價高を乗り切るには	(山田忍三、太田辨次郎)	同上	同上	4上

物價に對する錯覺	(眞木傳五郎)	日本及人	同上	5月
問題の「適正價格」と小賣商	(辻眞)	商店界	同上	4月
インフレーションと小賣店	(東京府資料提供)	商店界	同上	5月
インフレの魔の手は延びる	(藤島俊)	同上	同上	5月
合成纖維の現状と將來	(櫻田一郎)	科學知識	同上	5月
合成纖維の工業的躍進	(岡村勳)	同上	同上	5月
軍需代用材料の解決	(大森達夫)	科學畫報	同上	6月
小賣商店に見るインフレ的現象	(安本浩)	商店界	同上	5月
米の需給と食糧問題	(稻村順三)	改造	同上	6月
産業組合法はどう改正されたか	(半谷眞武)	商店界	同上	5月
商品難の一原因	(倉本長治)	商店界	同上	5月
人造ゴム自給自足成るか	(神原周)	科學畫報	同上	6月
朝鮮半島の黄金景氣探訪	(池田三郎)	現代	同上	6月
ナイロンその他の合成纖維	(種村功太郎)	科學知識	同上	5月
日本經濟の現實分析	(高田保馬)	改造	同上	4臨
飛躍日本と發明力	(關口八重吉)	雄辯	同上	6月
百六十億豫算の實相	(三上忠造)	現代	同上	6月
躍進した石炭液化工業	(祖父江寛)	科學畫報	同上	6月
輸送から見た石炭不足	(柏原兵太郎)	實業	之本	5下
利潤統制案の含蓄	(岩崎英恭)	改造	之本	6月
利潤統制の効果	(田邊忠男)	同上	同上	6月
利潤統制の具體的影響	(竹内謙二他二氏)	實業	之本	5下
軍需景氣と日本畫家	(尾川名計)	改造	之本	7月
經濟統制と經濟監査	(蟻川虎三)	改造	之本	7月
米はどうなる(對談)	(渡邊鉄藏・東市庄治)	實業	之本	6上
財界指導理論の方向	(加田哲二)	同上	同上	6下
事變經濟進展下の財閥	(北村三郎)	改造	之本	7月
新興代用品の色々	(小松鏡太郎)	雄辯	之本	7月
戦争で貨幣はどう變つたか	(吉田晴二)	實業	之本	6下
大陸インフレの日本經濟への影響	(木村哲太郎)	同上	同上	6下
大陸經濟建設の課題	(宮本武之輔)	科學知識	同上	6月
大陸の農林(對談)	(藪部一郎・佐々木喬)	同上	同上	6月

鐵を中心にして語る	(高橋省三)	現代	7月
統制経済私見	(新井章治)	業之本	6下
南方経綸と世界維新	(山根謙一)	日本及人	7月
無盡整理組合	(栗林農夫)	日本及人	7月
躍動する北支蒙疆を巡りて	(松野鶴平)	雄辯	7月
悪性インフレ防止策	(諸家回答)	業之本	7上
今何が一刻に廻るか	(岡田忠郎)	同上	7上
科学者は答ふ	(飯高一郎他五氏)	科学知識	7月
技術の實踐と國策の實現	(谷口吉郎)	科学知識	7月
経済倫理の解剖	(原祐三)	改造	7臨
これからの物と金との考へ方	(鈴木憲久他二氏)	業之本	7上
事變下の人造石油	(榎本隆一郎)	科学知識	7月
戦時物價対策私見	(室谷賢治郎)	業之本	7上
杜撰なる増産計畫と肥料対策	(渡瀬重良)	日本及人	8月
統制の今後	(長谷川安兵衛、井上貞蔵)	業之本	7上
日本インフレと獨逸インフレの相違	(渡邊鎮蔵)	同上	7上
日本経済革新の方向	(飯島幡司)	同上	7上
日本統制経済の弱點とその補強策	(勝田貞次)	同上	7上
新しき経済學の任務	(武村忠雄)	改造	8臨
歐洲経済新秩序を繞りて	(荒木光太郎)	同上	9月
革新世界と新政治體制	(内田繁隆)	同上	9月
経済再編成への途	(永田清)	同上	8臨
ゴムを語る	(清水重次郎)	現代	9月
近衛内閣と新經濟體制	(郷司浩平)	業之本	8下
近衛内閣の經濟相と經濟政策	(高木友三郎)	同上	8下
米の特輯	(宮川三千藏他三氏)	商店界	8月
財人隨想	(松崎半三郎他二氏)	業之本	8下
商業體制の確立	(岡田徹)	商店界	8月
戦時配給は商人技術の動員だ	(柳澤定治郎)	商店界	8月
統制強化と株式	(染谷萍人)	業之本	8下
内外急轉下のわが經濟政策	(山崎靖純)	改造	8臨

七・七禁令と商人の進む可き道	(喜多村實紀)	業之本	8下
南進政策と有望南方株	(記者)	同上	8下
日本商業報國隊	(指導部)	商店界	8月
農業再編成の基軸	(小池基之)	改造	8臨
木炭の特輯	(佐藤和雄他五氏)	商店界	8月
海運日本の前途	(村田省藏)	現代	10月
經濟界の新體制	(本位田祥男)	業之本	9上
近衛新體制で株式市場はどうなる	(松本信次)	同上	9上
近衛内閣の基本經濟國策	(加田哲二他四氏)	同上	9上
米の對策と研究の視野	(永井威三郎)	科学知識	9月
財界の新體制爭覇戰	(北川一夫)	改造	9月
商業部門の新體制	(藤島俊)	商店界	9月
商業報國運動に就いて	(増田操)	商店界	9月
商業報國運動の批判	(柳澤定次郎)	商店界	9月
新政治體制と商人これからの行き方	(稻川宮雄他六氏)	業之本	9上
戦時の獨逸經濟	(リライ・アベック)	改造	10月
戦時利潤はどう進む可きか	(石井良一)	商店界	9月
蘭印とはどんな所か	(高田儀三郎)	業之本	9上
我が家の消費節約(懸賞)	(郷徳治他一氏)	同上	9上
新しき商人道	(岸信介)	雄辯	11月
技術國策論	(宮本武之輔)	改造	11月
經濟新體制が出来るまで	(北村三郎)	業之本	10上
時局下の馬を語る	(小津茂郎)	雄辯	11月
商業新秩序と新商業倫理	(岸信介)	業之本	10上
新體制と日本經濟の新動向	(西野入愛一)	改造	11月
戦時下に於ける産業の合理化	(石川半三郎)	業之本	10下
戦争と資源	(小西千北古)	日本及人	10月
南方経綸と將來戰	(藤春清一朗)	同上	10月
日獨伊三國同盟と株式(對談)	(高木友三郎)	業之本	10下
日本經濟の新體制と獨逸の統制經濟	(勝田貞次)	同上	10下
日本全體經濟の理念	(加田哲二)	同上	10下
農業新體制と小作料	(森川覺三)	同上	10下
	(瀬川次郎)	同上	10下
	(三宅鷹之助)	改造	10臨

貧乏インフレ時代	(勝田貞次)	實業	之本	10上
報徳経済と新體制	(上田辰之助)	新女苑	之本	11月
蘭印の経済的價值	(飯泉良三)	實業	之本	10上
蘭印の錫・ゴム・石油	(齋藤正雄)	改	造	11月

## ○ 社會・文化・科學

外地の神社に就て	(小川義和)	日本及	人	12月
青春を蒙古に捧げて	(一宮操子)	婦人公論		12月
戦火と藝術(一・文藝)	(新居格)	週刊朝日		11一
戦火と藝術(二・音楽・美術)	(大田黒元雄 伊原宇三)	週刊朝日		11二
戦場より還りて若き女性に與へるの記	(高橋傳大尉)	新女苑		12月
戦争と國民生活	(鈴木憲久)	實業	之本	11上
戦争と猶太人	(増田正雄)	改	造	12月
早婚の生理	(太田武夫)	同	上	12月
兵隊と兵隊	(火野葦平軍曹)	週刊朝日		11二
靖國神社招魂の式參列感激記	(加藤武雄)	婦人俱	楽部	12月
支那人と食物	(長野朗)	雄	辯	1月
時局下の思想問題	(杉山平助)	同	上	1月
戦争が生む少年犯罪問題	(永澤邦男)	改	造	12臨
働く人の栄養と衛生	(有本邦太郎)	雄	辯	1月
文化の力	(三木清)	改	造	1月
標準日本語	(小幡重一)	同	上	1月
北支、蒙疆見聞録	(尾崎士郎)	雄	辯	1月
支那人の心を掴む	(後藤朝太郎)	實業	之本	1下
事變下の子供の重大問題	(加藤覺亮他三氏)	主婦之友		2月
上海に於ける猶太人の動き	(四川銀兒)	實業	之本	1下
戦火の祖國を語る	(芬蘭公使K.イドマン)	雄	辯	2月
戦争と演劇	(三宅周太郎)	實業	之本	1下
その後の支那	(清水安三先生に訊く)	新女苑		2月
吾國現下の人口問題	(窪田嘉章)	同	上	2月
歸還兵士は銃後の女性に何を求めてゐるか	(棟田博)	婦人公論		3月
去年の卒業生の獲得した職場	(女子)	新女苑		3月

支那語漫歩	(後藤朝太郎)	科學知識		2月
支那人と結婚した日本婦人の大陸生活座談會	(方政英他四氏)	主婦之友		3月
支那の子供	(國分一太郎)	婦人公論		3月
眞執な興亞學者を望む	(竹内松次郎)	科學知識		2月
青年對談	(藤原銀次郎)	實業	之本	2下
東大經濟學部の再建	(乘間恭)	同	上	2下
水戸學と日本精神	(高須芳次郎)	現	代	3月
民族の飛躍と親心	(高島米峰)	雄	辯	3月
蒙疆の慈父金井博士に聽く	(永松淺造)	同	上	3月
國家總力戦より觀た二千六百年	(寺田彌吉)	同	上	4月
國民生活踏査報告(第二回)(風早八十二、中野重治)		改	造	4月
國策完遂に協力しませう	(記者)	雄	辯	4月
サラリーマンの生活方針	(氏家壽子)	家業	之本	3月
時局下サラリーマンの進むべき道	(前田賢次)	現	代	4月
十一時限り娛樂街	(記者)	週刊朝日		3四
二千六百年藝能祭出品の映畫作品	(小林猷信)	同	上	3一
復興する上海	(T. K 生)	上級英語		4月
平和の構造	(森戸辰男)	改	造	4月
儲かりませ報國債券	(辰野九紫)	週間朝日		3四
闇に語る	(阿部眞之助)	改	造	4月
一家總動員でこの成果	(阿部静江)	商店界		4月
官僚の仕事は何ぞ能率が上らぬか	(田中要人)	實業	之本	4下
簡素生活を實行致しませう	(社説)	雄	辯	5月
興味を喚ぶ聖職貫徹聯盟の發展	(觀潮樓主人)	同	上	5月
吳佩孚死すとも精神死せず	(岡野増次郎)	日	本	5月
工場街を行く	(賀川豊影)	現	代	5月
國策完遂協力運動の提唱	(記者)	現	代	5月
國內文化の刷新	(清水幾太郎)	改	造	5月
支那研究書隨想	(平野義太郎)	同	上	5月
新首都南京	(川岡信正)	雄	辯	5月
新法律解説	(記者)	實業	之本	4下
青年の聖職觀	(鈴木庫三)	雄	辯	5月
宣傳の價值と限界	(熊谷憲三)	雄	辯	5月

前線將士の心	(火野葦平)	雄辯	5月
天然痘の話	(佐藤秀三)	改造	5月
日本は世界の田舎者か	(萩原朔太郎)	同上	3月
簡素生活懸賞募集當選篇	(山下邦一・服部義之)	雄辯	6月
簡素生活の提唱	(記者)	現代	6月
これから支那で仕事をする人の爲に	(栗本寅治)	實業日本	5下
更生の新支那	(後藤朝太郎)	科學知識	5月
新中央政權に對する感想	(温宗堯)	改造	6月
特殊勤務部隊の苦心を語る	(加藤邦雄他二氏)	雄辯	6月
人間と組織	(谷川徹三)	改造	6月
科學者雜談	(石原忍他五氏)	同上	7月
研究と世間	(高柳賢三他六氏)	同上	7月
高物價とサラリーマン	(野間健也)	實業日本	6上
國民優生法制定を繞つて	(田口英太郎)	改造	7月
サラリーマンの道	(渡邊省二)	實業日本	6上
支那の苦力の話	(後藤朝太郎)	雄辯	7月
支那の酒	(加藤將之)	科學知識	6月
大陸建設と醫學	(松村 盡)	科學知識	6月
大陸飛躍と國民	(中川良長)	日本人	7月
麥酒と戦争	(杉山茂助)	科學知識	6月
野人語	(小泉 丹)	改造	7月
心の無駄を省け	(増田義一)	實業日本	7上
知性の量、政治の量質	(三枝博音)	改造	7臨
不足なき生活	(友松圓諦)	實業日本	7下
一國民としての希望	(岸田國士)	改造	9月
國民生活の再編成	(加田哲二)	同上	8臨
食糧不足をどう打開するか	(吉村清間)	實業日本	8下
新體製と世相	(大山泰一郎)	改造	8臨
新文化體製の建設	(土屋喬雄)	同上	9月
末次大將を圍んで各大學生がものを訊く會	(編輯部)	雄辯	9月
世界の新秩序と我等の進路	(鹿島守之助)	同上	9月
石炭の黒さについて	(火野葦平)	改造	9月
節儉と奢侈	(野村兼太郎)	同上	9月

戦線に向ふ大學生に與ふ	(ハリファックス)	改造	8臨
戦車よこの胸を標け	(藤田實彦)	現代	9月
戦傷者の心理と更生の道	(渡邊政徳)	實業日本	8下
日本人の生活再検討	(下村海南他一氏)	同上	8下
新しき生活の方向	(有馬頼寧、山川菊榮)	婦人公論	10月
映畫界の新體製	(山中貞夫)	改造	9月
歐洲の教訓	(小林一三・山本實彦對談)	同上	9月
公定價格と生活異變	(大山泰一郎)	同上	9月
國民再編成とは何をやるか	(小池四郎)	實業日本	9上
新娛樂論	(宮澤俊義)	改造	10月
新體製たかひとらむ	(討論會)	同上	9月
新體製と學生青年の役割	(三輪壽壯)	雄辯	10月
新體製と言論	(平 貞藏)	改造	9月
新體製と國民生活	(三輪壽壯)	同上	9月
新體製と女性	(伊藤述史)	新女苑	10月
新體製と新聞廢合の嵐	(狩野一平)	改造	9月
新體製と農村社會	(小野武夫)	同上	9月
養澤生活と質素生活	(小林一郎)	實業日本	9上
大都市亡國論	(西野入徳)	改造	9月
特務兵の手記	(福田天太郎)	現代	10月
足を大地につけよ	(増田義一)	實業日本	10上
學生の過去	(大室貞一郎)	改造	11月
小賣商の行方	(大山千代雄)	同上	11月
公益優先とこれからの生き方	(前田一他三氏)	實業日本	10下
米問題と住宅問題	(原 祐三)	婦人公論	11月
サラリーマンと新體製	(青木均一)	實業日本	10上
サラリーマンの新體製	(河野密)	現代	11月
産業戦線に甦つた傷痍軍人は語る	(衛藤義伸)	雄辯	11月
支那民族運動に於ける英米とソ聯	(石濱知行)	改造	11月
奢侈儉約新體製	(小川義和)	日本人	10月
食糧問題の所在點	(大川一司)	改造	11月
新體製を街に拾ふ	(南木清人)	雄辯	11月
新體製下に於ける女子の體育	(小笠原道生)	新女苑	11月

新體制下の青少年運動	(荻生外二郎)	雄辯	11月
戦争と畫家	(馬淵逸雄)	改造	11月
代用食と榮養問題	(佐伯 矩)	科學知識	10月
隣組の理想	(新井 格)	婦人公論	11月
橋本欣五郎氏を圍んで各大学生が ものを訊く會	(山中秀男他九君)	雄辯	11月
ビルマ風土記	(伊藤知暁)	改造	11月
表彰に輝く銃後譽れの家訪問	(山本和夫他三氏)	婦人俱樂部	11月
○ 人物評論			
嗚呼水谷部隊長	(宮田三郎 曹長)	キング	12月
吳佩孚と王克敏	(伊藤金次郎)	改造	12月
專任農相問題と伍堂氏	(養堂 處士)	日本及人	11月
及川古志郎大將	(伊藤金次郎)	現代	1月
續、官僚わしが國さ(二)	(同上)	實業	1下
米内光政論	(伊藤正徳)	改造	2月
汪精衛をめぐる要人の横顔	(村田 孜郎)	雄辯	3月
元老、西園寺陶庵公を語る	(竹越與三郎)	實業	2下
新藏相櫻内幸雄論	(太田亥十二)	同上	2下
米内内閣の官僚大臣	(伊藤金次郎)	同上	2下
米内光政論	(同上)	現代	3月
池田と藤原	(大渡 順二)	改造	4月
新興産業の人々(二)	(蝦順賀一郎)	週刊朝日	3三
汪精衛讃歌	(原 嘉 章)	現代	5月
汪精衛に會ふ	(安藤 徳器)	改造	5月
影佐と犬養	(木原 通雄)	同上	5月
クレーギーとはどんな男か	(松本 忠雄)	週刊朝日	4四
國民政府を擔ふ人々	(田中 幸利)	雄辯	5月
新支那を作る人々	(横田 實)	改造	3臨
新中央政府要人列傳	(記者)	現代	5月
孫文、蔣介石、汪精衛	(頭山 滿)	改造	5月
父櫻内幸雄を語る	(櫻内 義雄)	雄辯	5月
藤原銀次郎論	(小汀 利得)	改造	3臨
藤原銀次郎	(石山 賢吉)	現代	5月
ムツリニ會見録	(山本 實彦)	改造	5月

話題の人、人物評論	(片岡 貢)	雄辯	5月
軍務局長武藤章	(伊藤金次郎)	現代	6月
南洋に活躍せる人々	(澤田 謙)	雄辯	6月
近衛、有馬、風景、新黨	(山浦 貫一)	改造	7月
近衛文麿論	(馬場 恒吾)	同上	7月
内大臣論	(宮澤 俊義)	同上	7月
池田成彬論	(小汀 利得)	同上	8月
河田烈と星野直樹	(瀧上 百五)	實業	8下
近衛内閣の人物	(森 東平)	改造	8臨
新政治體制を巡る人々	(片岡 貢)	雄辯	9月
東條英機論	(伊藤金次郎)	現代	9月
伊藤述史氏	(宇禮 椎名)	實業	9上
外相松岡洋右論	(雪堂 山人)	日本及人	9月
小磯國昭論	(山浦 貫一)	改造	9月
近衛公と松岡君	(堀内 信水)	日本及人	9月
三大臣點描	(藤原 秋光)	同上	9月
時の人寸描・石黒忠篤	(池月 鯨太郎)	週刊朝日	9四
文部大臣橋田邦彦論	(伊藤金次郎)	現代	10月
外交新體制に活躍する五人男	(片岡 貢)	雄辯	11月
首相近衛文麿論	(雪堂 山人)	日本及人	10月
豊田貞次郎中將	(A B C)	實業	10上
星野直樹の全貌	(遠藤 柳作)	現代	11月
松岡外相論	(杉山 平助)	改造	11月

○ 從軍記・現地報告

歌人部隊長、長谷川少佐陣中手記	(長谷川正男少佐)	婦人俱樂部	12月
ノモンハン大血戦録	(高雄 辰馬)	日の出	12月
上田廣軍曹と大嶽康子看護婦の對談		主婦之友	3月
征野五千里	(鳥海勝雄部隊長)	現代	3月
敵中をゆく通信旗	(宇高 清高)	日の出	3月
燃ゆる工兵魏	(八隅錦三郎部隊長)	現代	3月
上海の濞面	(豊島 與志雄)	改造	5月
南京の感情	(佐藤 俊子)	同上	5月

比島・重慶視察報告	(グールド)	改造	6月
躍動する南京の表情	(西田當元)	雄辯	6月
新廣東だより	(市川太郎)	同上	7月
戦線の軍醫體驗記	(長谷川忠三)	現代	7月
北京生活	(立野信之)	改造	9月
前線より歸りて	(本庄繁)	婦人畫報	10月
大陸涉破一萬哩	(一原有常)	雄辯	11月

○ 座 談 會

葦平歸還座談會	(尾崎士郎他二氏)	改造	12月
現下日本の重要問題を語る座談會	(津雲國利他六氏)	現代	1月
統制の強化と國民生活を語る座談會	(高島米崎他六氏)	雄辯	1月
日本文化の検討(座談會)	(長谷川如是閑他四氏)	改造	1月
滿洲國經營の目標を語る座談會	(星野直樹他四氏)	實業之本	12上
現代の結婚を語る座談會	(片岡鐵兵、石川達三他四氏)	婦人公論	2月
國民生活の安定を要望す(座談會)	(石橋瀧山他六氏)	改造	2月
東亞の新情勢を語る對談會	(松本忠雄、田中香苗)	雄辯	2月
病院列車内の白衣の勇士の感激座談會	(六勇士及大嶽飯田兩看護婦)	主婦之友	2月
新内閣と政局を語る座談會	(田子一民他六氏)	現代	3月
北滿現地に開いた拓士の妻の生活報告(座談會)	(最上かね他十二氏)	婦人俱樂部	3月
米内内閣出現の裏を語る座談會	(新聞記者匿名)	實業之本	2上
インテリ兵士職場歸還座談會	(生野從宜他六氏)	同上	3月
現下の社會相を語る座談會	(阿部眞之助他七氏)	現代	4月
滿洲國進出商人の現状を語る座談會	(三浦一他九氏)	實業之本	3月
小賣商の時難克服座談會	(大阪各關係實際指導家六氏)	商店界	4月
國內體制を確立せよ(現地座談會)	(神尾茂他七氏)	改造	5月
混迷期の投資方針検討座談會	(服部文一他七氏)	實業之本	4下
事變處理と國民生活を語る(座談會)	(渡邊鏡藏他五氏)	現代	5月
これからの統制はどうなる(對談會)	(岸信介・岡田徹)	商店界	5月
南洋事業家ばかりの座談會	(早川達三他四氏)	實業之本	5下
斯くして難局を乗切れ時局大座談會	(太田正孝他六氏)	現代	7月

これからの行き方暮し方座談會	(川原次吉郎他五氏)	實業之本	7上
近衛公と新黨を語る座談會	(肥田琢司他三氏)	同上	7下
前商工大臣鼎談會	(小川郷太郎他二氏)	同上	7上
近衛内閣・經濟相四人を語る座談會	(藤岡啓他三氏)	同上	8下
スパイは斯く躍る(座談會)	(編輯部)	週刊朝日	8四
進め?新生活運動座談會	(岡部長景他五氏)	雄辯	9月
大陸の建設面を語る(座談會)	(原憲兵衛他四氏)	現代	9月
近代戦と飛行機を語る座談會	(西原勝他三氏)	雄辯	10月
國民組織案の討議(座談會)	(河内密他七氏)	改造	10月
生活新體制の實行家の座談會	(大妻コタカ他六氏)	主婦之友	10月
戦時下の結婚と花嫁生活座談會	(大妻コタカ他二氏)	婦人俱樂部	10月
全體主義と投資(座談會)	(平山亮太郎他三氏)	實業之本	9上
日本の前進と今後の世界を語る(座談會)	(田中貢他五氏)	現代	10月
英敗北後の世界と日本の危機(鼎談會)	(關根郡平他二氏)	實業之本	10上
航空界明日の目標(座談會)	(淡路圓次郎他五氏)	科學畫報	10月
費澤退治に活躍の婦人挺身隊の座談會	(大妻コタカ他四氏)	婦人俱樂部	11月
南支戦線に於ける海軍將兵座談會	(阿部恒司中尉他十五氏)	雄辯	11月
日獨伊同盟を語る	(稻原勝治、齋藤忠)	雄辯	11月
日獨伊同盟結成繞りて(座談會)	(眞鍋良一他四氏)	新女苑	11月
佛印、蘭印、泰國の事情を語る座談會	(海軍中佐阿部信夫他五氏)	現代	11月

○ 教 育

軍隊に於ける精神教育	(T S 生)	教育研究	2月
皇紀二千六百年と國史教育	(佐藤保太郎)	同上	2月
紀元節詔書を拜讀す	(佐々木秀一)	同上	3月
國民學校を皇民學校とす	(久保源一郎)	日本及人	4月
教員不足と教育の危機	(宮原誠一)	改造	4下
支那語教育の新體制	(倉石武四郎)	改造	10月
新考査法と教學の刷新	(松川重之)	日本及人	9月
新體制下に變る女子教育	(杉山謙治)	新女苑	10月
教育勅語換發五十週年に當りて	(大村毅)	雄辯	11月
新體制下の學校めぐり	(中河與一)	現代	11月



○ 文 學	
文學と政治	(有馬頼寧) 現代 1月
○ 歴 史、地 理	
日清、日露戦役の帝国外交	(渡邊幾治郎) 實業之本 12月
井上雅二氏に興亞五十年の足跡を訊く	(記者) 雄辯 5上
統帥権獨立問題の史的考察	(渡邊幾治郎) 改造 9月
歴史と人物	(馬場恒吾) 同上 9月
○ 婦 人	
生き抜く南京の女たち	(林田重五郎) 週刊朝日 11二
戦死者の未亡人に寄せて	(櫻井忠温少將) 婦人公論 12月
時局は婦人に何を求めてゐるか(座談會)	(加藤長少佐他八氏) 婦人倶楽部 2月
傷兵の處女妻となつた山口軍曹夫人の手記	(山口さとの) 同上 3月
新體制下の青年はどんな女性を望むか	(小田忠他六氏) 同上 11月

18. 中等参考書

○ 國 語	
書 名	著 譯 者 分類 番號
國語國文法講座(帝國教育中學講座の内)	龍澤良芳外二名 261 37
新訂國文解釋法	塚本哲三 320 2
新訂國文學び方考へ方解き方	同上 320 7
受験の秘訣三回以上出た國文問題	森清晋 320 26
徒然草(中等國文解釋の内)	松井博信 320 30
受國文解釋の綜合整理	歐文社指導部 320 39
新訂現代文解釋法	塚本哲三 326 4
現代文の解釋と書取の練習	有精堂編輯部 326 6
入試問題を國語書取の徹底的中心とせる新研究	松岡繁行 380 11
入學試験國語書取と文法正誤の解釋問題分類	歐文社指導部 380 15
受験本位の國文法	三省堂編輯部 382 21
精説國文法	塚本哲三 382 25
國文法の學習と練習	山田園区 382 26

○ 漢 文	
漢文講座(帝國教育中學講座の内)	岩垂憲徳外二名 261 37
文章軌範詳説	細田謙藏 333 3
新訂漢文解釋法	塚本哲三 333 15
改訂漢文學び方考へ方解き方	同上 333 18
文法漢文新解釋	小泉孝三 333 22
研究漢文初歩學び方考へ方解き方講義	塚本哲三 333 32
既知より未知漢文考へ方を征服する	寺尾正一 333 44
一日一題漢文解釋	森通 333 49
○ 作 文	
作文講座(帝國教育中學講座の内)	深田忠山 261 37
作文學び方考へ方作り方	塚本哲三 321 6
受験本位作文の要點	谷岡義賢 321 18
作文精講	竹野長次 321 27
一二三年の新作文急所を掴む	新日本學術協會 321 28
受験作文合格答案集	服部嘉秀 321 37
最新作文範例精	澤田清總 321 39
受験作文の綜合整理	歐文社指導部 321 43
○ 支 那 語	
支那時文教程	宮原民平 335 3
支那語辭典	宮島士敏 374 24
北京俗語集解	矢野藤助 391 7
滿洲語五十講	鈴木萬太郎 391 9
支那語の學び方	下宮越健太郎 391 14
支那現代文釋義 新聞篇	瀧田太郎 391 15
○ 英 語	
新コンサイス英和辭典	岩本成允 375 24
學生英和辭典	同上 375 38
新選英語辭典	增田藤之助 375 39
スタンダード英和辭典	竹原常太 375 40
一日一課獨習者の英語	松岡省平 393 23

最新研究の英語の文法  
 受験本位の英文解釋  
 新々和文英釋研究  
 新々英文和釋研究  
 中級生の英文解釋とその公式  
 受験學習英文解釋のあたま  
 學生受験力の英語  
 聽講自修佐川の英文解釋  
 受験必携單語の類型的研究  
 誤角添削新英文着眼點  
 受験學習英文和釋法  
 新和文英釋法  
 自修英語發音法  
 公式と圖解で覺える 1.2.3.年の英作文  
 受験英語單語熟語の綜合的研究  
 受験精說英文解釋の實力

○ 歴

學習受験東洋史  
 最も要領を得たる東洋歴史  
 受験本意の東洋歴史  
 最も要領を得たる西洋歴史  
 受験學習西洋史  
 最も徹底せる解答式西洋歴史  
 受験本位の西洋歴史  
 學習最新方眼式國史年代表  
 參考受験答案式日本歴史精  
 參考最要領を得たる日本歴史  
 國史學び方考へ方と解き方  
 最も分り易き日本史

○ 地

小野圭次郎 3934 13  
 龜井寅雄 3934 45  
 山崎貞 3935 83  
 同上 3935 80  
 高橋盛雄 3935 164  
 村上功 3935 161  
 佐野一郎 3935 166  
 佐川春水 3935 167  
 川村泉 3935 168  
 岡田實磨 3935 169  
 加賀谷林之助 3935 170  
 内山源一 3935 171  
 竹内治郎 3935 174  
 木村明 3935 178  
 赤尾好夫 3935 179  
 杉本俊夫 3935 180

史

寶文館編輯部 404 13  
 諏訪徳太郎 404 14  
 三省堂編輯部 404 16  
 諏訪徳太郎 405 20  
 寶文館編輯部 405 24  
 蘆田逸次 405 30  
 三省堂編輯部 405 32  
 先進堂 411 42  
 中等教育會 412 47  
 諏訪徳太郎 412 60  
 今井登志喜 412 69  
 更谷南室 412 57

理

受験準備最も要領を得たる地理通論  
 最も要領を得たる外國地理  
 最新外國地理の要點  
 學習外國地理  
 受験本位の世界地理  
 受験學習外國地理問題の解釋  
 新制最近世界地圖  
 最も要領を得たる日本地理  
 受験本位の日本地理  
 甲表乙表標準日本地理粹  
 學習受験の精標準日本地理精義  
 新制最近日本地圖

○ 算

算術問題解き方と其の着眼點  
 改訂増補算術圖式解法  
 算術重要問題受験問題解法の眞髓  
 もつとも算術分り易き

○ 代

三訂改訂代數學び方考へ方と解き方 上下  
 自學自修受験參考代數重要問題解き方  
 最新代數學精義 上下  
 受験講座明解代數學  
 チャード式代數學  
 新制初級の代數學講義  
 登龍代數學 上下  
 三段式代數の權威 上下  
 實力本位上級の代數問題の仕課の解法  
 受験本位代數の權威

○ 幾

改訂新版精說幾何學學び方考へ方と解き方  
 新版精說幾河初步學び方考へ方と解き方

諏訪徳太郎 460 11  
 諏訪徳太郎 461 11  
 工藤暢須 461 12  
 寶文館編輯部 461 24  
 三省堂 461 37  
 塚田忠泰 461 42  
 三省堂編輯部 463 13  
 諏訪徳太郎 470 34  
 三省堂編輯部 470 92  
 河田四郎 470 100  
 三矢暉吉 470 107  
 三省堂編輯部 470 116  
 術  
 武田建清 614 19  
 千葉茂 614 22  
 吉田金造 614 23  
 更谷龜太郎 614 24  
 數  
 藤森良藏 615 17  
 本多吉雄 615 37  
 岩切晴二 615 40  
 小倉隆 615 43  
 星野華水 615 55  
 岩間線郎 615 57  
 松宮隆光 615 58  
 柴田信太郎 615 59  
 奈良善雄 615 60  
 柴田信太郎 615 61  
 何  
 藤森良藏 616 9  
 同上 616 14

わかる幾何學  
 受験幾何問題と解答  
 参考幾何  
 受験幾何  
 學習問題解着眼點  
 幾何き方と  
 チャード式幾何學  
 受験の幾何學  
 秀才の幾何學  
 すぐ平面幾何第一歩  
 わかる  
 登龍幾何學  
 上級の幾何問題の仕譯及解法  
 中等  
 教育新制平面幾何學  
 受験幾何學の綜合的研究

秋山武太郎 616 18  
 小野新太郎 616 33  
 豊崎精一 616 36  
 寶文館 616 36  
 武田建清 616 42  
 星野華水 616 47  
 笹部貞市 616 48  
 林茂増 616 49  
 山崎猛一 616 50  
 松室隆光 616 51  
 奈良善雄 616 53  
 東京中等教育數會 616 56  
 學研究會  
 高津巖 616 57

○ 三角 其他

わかる三角法  
 初めて學ぶ人の三角法  
 三角問題解着眼點  
 き方と  
 登龍三角法  
 獨學自習ヲ主ト平面三角法講義  
 シタル解リ易イ  
 學習最新三角法講義  
 受験最新解折幾何學講義  
 試験によく出る幾何代數問題の正しき  
 解き方

秋山武太郎 617 5  
 根津千治 617 6  
 武田建清 617 9  
 松室隆光 617 11  
 高村勘 617 12  
 岩切晴二 617 14  
 寺澤寛一 618 4  
 佐久間謙 618 5  
 高見豊

○ 物 理

受験本位物理學の要點  
 教科學生の物理學  
 摘要  
 物理學の講義と正しき解き方  
 問題の  
 學習改訂物理學自由  
 受験  
 中等物理學補習  
 新制準據學生の物理  
 簡易物理學の權威  
 要領  
 標準物理學精義

中等物理學會編 621 22  
 龜井忠一 621 24  
 藤本源吾 621 25  
 内藤卯三郎 621 44  
 内藤卯三郎 621 45  
 俊郎  
 三省堂編輯部 621 47  
 更谷晋策 621 48  
 溝口成藏 621 50

甲表準據物理學粹  
 乙表  
 受験學習物理の第一歩  
 最も正しき物理學問題詳解  
 受験物理の征服  
 學習  
 明說物理學

高田徳佐 621 51  
 藤村與市 621 55  
 淺田忠順 622 9  
 松野木俊雄 622 15  
 三浦幸平 622 19

○ 化 學

化學の講義と正しき解き方  
 問題の  
 受験本位化學の要點  
 初めて學ぶ人の化學  
 化學の第一歩  
 受験本位の化學  
 實驗化學の講義と着眼點  
 推理  
 學習改訂化學自由  
 實驗  
 總合式補習化學  
 甲表乙表化學粹  
 準據  
 中學教育化學の眞隨  
 化學の基礎  
 學習必勝の化學  
 受験  
 學習三訂化學自由  
 受験

藤本源吾 623 13  
 中等理學會編 623 18  
 山川如英 623 37  
 藤村與市 623 47  
 三省堂編輯部 623 48  
 渡邊金次郎 623 49  
 岩永源作 623 50  
 今泉善夫 623 51  
 中嶋直一 623 51  
 高田徳佐 623 53  
 永梅佐一郎 623 58  
 同上 623 59  
 藤本源吾 623 61  
 岩永源作 623 62

○ 博物、動物、植物、礦物、生理衛生

教科參考と博物通論の講義  
 受験準備  
 近世博物通論  
 學習動物  
 受験動物  
 受験と學習の動物學  
 要領を掴める  
 もつとも動物學  
 分り易き  
 復習用植物學の講義  
 受験用  
 もつとも植物學  
 分り易き  
 植物學の講義  
 教科學生の礦物界  
 摘要  
 受験と學習の礦物學  
 要領を掴める

永野彌作 640 2  
 大島正滿 640 8  
 寶文館 650 22  
 中等教育研究會 650 37  
 西山熊夫 650 54  
 鈴木豊 660 50  
 西山熊夫 660 51  
 永野彌作 660 53  
 龜井忠一 674 3  
 中等教育研究會 674 9

標準讀物學精義	金子 勇	674	14
教科學生の生理衛生 摘要	龜井 忠一	691	6
受験と學生の生理衛生學 要點を掴める	中等教育研究會	691	14
生理衛生學の講義	永野 彌作	691	20
生理衛生學精義	山家 鐵五郎	691	21

## ○ 公 民 科

新日本建設の基礎公民教育	仙田 清吉	261	29
系統的公民科要義 要目準據	大日本學術協會	261	33
公民科講座 (帝國教育中) 學講座の内)	原 房 孝	261	37
理解し易く學生の公民科 記憶し易き	大森松次郎	261	40
受験公民科の精講	歐文社指導部	261	48

## ○ 雜 之 部

女子小學教員專檢 產婆、看護婦	高橋 鐵也	205	51
入學試験問題解義號	考へ方研究社	205	58
入試問題正解號	研 究 社	205	59
英、數、國、漢根抵三百題研究	研 究 社	205	60
最近二十三年間專檢高檢高資 試験集	箕 輪 香 村	205	74
文部省直轄諸學校 入學試験問題並 答案講評	文 部 省	205	86
必ず出る專檢高資試験重要問題集	中山俊太郎	205	90
英、數、國、漢根底の養成	研 究 社	205	91
新撰用器書法詳解講義	大村周二	701	9
わかり易くした用器書法詳解	富田伊三郎	701	12
最新商業簿記	齋藤善三郎	965	18

## 19. 主なる新着圖書

書物三見	井上 和 雄	010	75
書、人、旅	桑木 嚴 翼	040	167
松波牛の込合ひ 隨筆	松波 仁一 郎	040	169
大阪辯	石川 欣 一	040	170
隨筆天邪鬼	林 癸 末 夫	040	171

歐洲の雀	安 騎 東 野	040	175
戦争、政治、人間	柳澤 恭雄 譯	040	176
現代の精神	清水 幾太郎	100	109
人間と實存	九 鬼 周 造	100	110
本居宣長	河 野 省 三	102	9
禪死生一如 講	太田 悌藏 編	136	31
日本古代道德の研究	宮 崎 秀 春	170	45
教育勅語の本義と漢發の由來	渡邊 幾治 郎	171	30
皇民道德原論	馬 垣 文 翁	172	161
日本精神史講話	河 野 省 三	172	162
肚で行く	山 中 峯 太 郎	174	276
機外清話	平 沼 騏 一 郎	174	277
孔子論	川 口 浩 譯	181	8
老子新釋	小 柳 司 氣 太	184	24
生活技術と教育文化	城 戸 幡 太 郎	200	168
全體觀と國民教育	佐 藤 熊 治 郎	200	169
世界教育の現状	白 根 孝 之	200	17
日本教育學	入 澤 宗 壽	210	42
我が子の特徴とその指導	大 伴 茂	211	42
兒童心性論	波 多 野 完 治	211	43
子供を見る眼	青 木 誠 四 郎	231	69
愛兒の教育相談	田 中 寬 一	231	70
受験公民科精講	歐文社指導部	261	48
滿蒙青少年義勇軍 開拓	比 佐 友 香 編	265	31
イタリヤの青年運動	岡 田 博 道 譯	265	32
日本文學様式論史	大 場 俊 助	310	59
作歌用語新辭典 附枕詞解	生 田 蝶 介	313	141
俳句文學の秋	飯 田 蛇 笏	314	59
國文學女性史	川 島 秀 二	320	38
日本小説史論	藤 田 德 太 郎	350	10
北洋	佐 藤 光 貞	3532	544
失はれた季節	南 川 潤	3532	545

戦友に慰ふ	陸軍美術協會編	3532	546
大地に祈る	宮川マサ子	3532	548
千島丸	大鹿卓	3532	550
東京温泉	獅子文六	3532	551
若き娘たち	アンリ・ドゥ・モンテルラン著 新庄嘉章譯	355	162
國語法大綱	松尾捨治郎	382	27
支那現代文釋義 新聞編	岩村成允	391	15
日本文化	肥後和男	411	76
歴史の前進	秋山謙藏	411	78
神々の夜明—古事記の地上展開—	太田水徳	413	12
源氏と平家	生方敏郎	414	23
改訂 大塔宮之吉野城	中岡清一	415	20
秋風五丈原	大場彌平	420	37
滿支史説史話	瀧川政次郎	420	38
滿洲國史通論	稻葉岩吉	421	3
大御光	皇輝會編纂部編	4555	58
福山航空兵大尉	野口昂	458	195
ジョン・アイ・ロックフェラー	有川治助	459	78
彼傳 汪兆銘	澤田謙	459	80
富士と大和民族	佐藤太平	470	122
日の出の子達	ウイラード・ブライス著 澤田謙譯	470	123
南支五省の現勢	馬場欽太郎 村上計二郎	484	21
新西域記 上、下巻	上原芳太郎編	486	5
新支那建設の政治經濟問題	國際經濟學會編	5041	4
國境の話	國松久彌	510	88
獨塊に於ける 伊藤博文の憲法取調と日本憲法	清水伸	512	31
國民投票制度の研究	大石義雄	513	29
現代外交講話	長谷川了	5262	24
日本と新國際主義	田村徳治	5264	119
經濟プロックと大陸	佐藤弘	542	149
國際貨幣制度の研究	齋藤利三郎	545	72
今日の租税	能勢貞治	554	47

地方財政改革問題	高砂恒三郎	559	3
支那社會の研究 社會學的考察	山根守道	560	21
ナチス社會政策の研究	清水盛光	561	74
貧苦の人々を護りて	中川與之助	564	14
滿蒙の風俗習慣	山田節男	574	9
現代の植民政策	川瀬偲郎	590	41
興亞の先驅 滿蒙開拓讀本	加田哲二	5943	8
比律賓年鑑 昭和十五年度版	伊禮肇	598	9
趣味の世界數學史物語	大谷純一編	610	10
百萬人の數學	鏡淵稔	611	4
數學史新講	竹内時男	611	5
數とロマンス	原種行一	611	6
新講物理學	清水英	621	56
文化の物理學	吉岡修一郎	621	57
化學新叢	森本彌三八	623	60
天文と宇宙	庄司彦六	632	7
百萬人の生理學	西澤勇志智	632	7
健康と長壽	荒木俊馬	691	22
如何にして日本人の體格を改善すべきか	林 稔	697	80
長生きの研究	小澤修造	697	81
最新 道路工學及都市計畫	入澤達吉	697	82
トンネルの話	伊藤千代藏	710	26
機械工業講話	櫻井盛男	710	27
工場機械設備	アーチバルド、ブラック著 平山復二郎譯	720	27
實用放送工學 上巻	東京商工會議所	720	28
無線用受信装置及送信装置	古田正	730	73
最新 炭礦工學	松田儀一郎	730	74
近世日本國防論 上巻	宮崎正香	750	17
古今刀劍物語	久保山雄三編	773	14
帝國海軍	足立栗園	777	13
第十八回朝鮮美術展覽會圖録	前田稔靖	790	21
望戦美術	猪伏清	804	4
	朝鮮寫眞通信社	804	8
	陸軍美術協會編		

映畫と現實	岩崎 昶	853	6
管絃樂及び管絃樂法の歴史的研究	アダム・カラス著 大田黒元雄譯	865	9
尺八の樂理と實際	吉田晴風 前田佳風	867	3
運動年鑑 昭和十五年度	樋口正徳編	870	1
棋道半世紀	關根金次郎	876	7
近代野球戰術	鈴木惣太郎	881	37
遊佐馬術	遊佐幸平	886	12
歐洲大戰と日本産業の將來	小島精一	902	34
日本農業の機械化	吉岡金市	912	44
新農村の建設	比佐友香編	912	45
全國一千農家の經濟近況調査	町田辰次郎	912	46
農業經濟學	オブライエン著 松田武雄譯	912	47
趣味と最新園藝 實用	岩本熊吉	920	126
海南島と椰子	田澤震五	920	128
農家の實用家畜の飼ひ方 副業	衣川義雄	936	22
商業經濟統制論	堀新一	963	16
廣告心理學	ウオーター・デイル・スコット著 松宮三郎譯	964	35
會計通論	野口亮	965	48
市場制度の研究	秋元博	967	39
郵便の常識 利用の仕方	野中正俊	974	2
化學工業講話	東京商工會議所	983	98
躍進臺灣大觀 續編	大塚清賢編	070	92
在臺三十年	三卷俊夫	070	101
辜顯榮翁傳	辜顯榮翁傳記編纂會	0741	111
臺灣經濟叢書 8.	竹本伊一郎編	0752	82
臺灣銀行四十年誌	名倉喜作	0796	1
臺灣製糖株式會社史	伊藤重郎編	0791	25

## 20. 地方圖書館圖書撰擇用參考目錄

(文部省、日本圖書館協會、  
臺灣圖書館協會推薦圖書)

總 類 (一般圖書)

書名	著譯者	發行所	價格
隨筆集、父の日記など	澁澤秀雄	實業之日本社	1.50
○ 哲 學			
國民の書	永田秀次郎	人文書院	1.00
日本佛教論	圭室諦成	三笠書房	.90
聖徳太子と法隆寺の諸相	井上善右衛門	同朋社	1.50
有限超越としての宗教	二名五良	理想社出版部	1.30
わが人生と宗教	吉田絃二郎	第一書房	1.30
歴史的現實	田邊元述	岩波書店	.60
道元禪師と行	秋山範二	山喜房佛書林	1.80
○ 教 育			
幼兒教育論	城戸幡太郎	賢文館	1.80
愛兒の教育相談	田中寛一編	培風館	1.50
幼な子へのお話—母のために—	石森延男	横山書店	1.60
女教師の記録	平野婦美子	西村書店	2.00
青年の心理	牛島義友	巖松堂	2.80
○ 文 學、語 學			
日本文學の思潮	久松潜一	河出書房	1.20
病院船	大嶽康子	女子文苑社	1.00
咲きだす少年群	石森延男	新潮社	1.40
聖戰歌集	讀賣新聞社編	岡倉書房	1.70
單色燈	辻二郎	岩波書店	1.80
日本的性格の文學	齋藤清衛	子文書房	1.20
分隊長の手記	棟田博	新小説社	1.30
土と戦ふ	菅野正男	滿洲移住協會	.50
日輪兵舎	福田清人	朝日新聞社	1.50
北洋	佐藤光貞	六藝社	1.00
巡禮	鳥崎藤村	岩波書店	1.70
民謡覺書	柳田國男	創元社	1.50
大陸巡遊吟	吉植庄亮	改造社	2.00
花と兵隊	火野葦平	改造社	1.00
金山	大鹿卓	春陽堂	1.70
庄内平野	丸山義二	朝日新聞社	1.50

戦友に慰ふ	陸軍美術協會編	軍事思想普及會	.45
現代短歌	石山徹郎	日本評論社	1.50
近代日本の作家と作品	片岡良一	岩波書店	4.00
歴史、地誌			
郡司大尉	廣瀬彦太	鱒書房	1.80
西住戦車長傳	菊池寛	東京日日新聞社	2.00
ロンドン憂鬱	古垣鐵郎	三省堂	2.30
皇國二千六百年史	藤谷みさを	大阪毎日新聞社	.65
概観維新史	維新史料編纂事務局編	明治書院	3.80
日本郷土學	小田内通敏	日本評論社	3.50
現代支那史	小竹文夫	弘文堂	.50
亞細亞史概説中世篇	守屋美都雄編	螢雪書院	2.50
全傳野口英世	エックンタイン著 栗原古城、小田律譯	青年書房	2.00
滿洲建國讀本	徳富正敬	日本電報通信社	1.20
法制、經濟、社會、統計、植民			
統制經濟講話	波多野鼎	日本評論社	1.60
日本食糧經濟論	水野武夫	高陽書院	1.80
日本の進路	松村秀逸	大日本雄辯會講談社	1.30
歌ふ子供たち	高島嚴	萬里閣	1.30
日本の前進	永田秀次郎	新潮社	1.00
物の經濟はどうなるか	岡崎文勳	朝日新聞社	.35
南洋の華僑	南洋協會編	南洋協會	2.00
新税問答	朝日新聞社編	朝新新聞社	1.70
日本の外交	伊藤述史	三省堂	1.00
貧苦の人々を護りて	山田節男	日本評論社	1.50
興亞經濟の前途	石渡莊太郎	述今日の問題社	1.00
新日本經濟説話	原祐三	ダイヤモンド社	2.50
日本經濟の再編成	笠信太郎	中央公論社	1.70
理學、學醫			
百萬人の生理學	林高嶺	三教書院	1.80
天文と宇宙	荒木俊馬	恒星社	3.80
百萬人の數學	竹内時男	三教書院	1.80

趣味の世界數學史物語	鏡淵稔	啓文社	2.00
海洋學讀本	東京日日新聞社編 大阪毎日新聞社	東京日日新聞社	2.00
大宇宙の旅(改訂版)	ジーンズ著 村上思敬譯	恒星社	2.80
結核	松田道雄	弘文堂	.50
醫學の倫理	オカンツイーク著 ヒューマニズムと醫學 三浦岱榮譯	理想社出版部	1.00
細菌物語	B. B. メール著 永野爲武外一名譯	青木書店	1.40
遊星から恒星へ	竹田新一郎	恒星社	2.60
工學、兵事			
國民防空讀本	内務省計畫局編	大日本防空協會	.50
劍道讀本	野間恒	大日本雄辯會講談社	2.00
トンネルの話	アーチバルド、ブラック著 平山復二郎譯	岩波書店	1.60
航空の技術と體驗	藤田雄藏遺稿	朝日新聞社	2.00
機械化兵器讀本	吉田豊彦	東京日日新聞社	1.30
美術			
改修文樂の研究	三宅周太郎	創元社	1.50
産業			
時局農村の副業と工業	農林省副業課編	西ヶ原刊行會	3.00
會計通論	野口亮	丸善株式會社	2.00
農村榮養	森川規矩	佐藤新館	1.00
共同炊事の手引	増田正直	生活館	
兒童			
幼兒に聞かす、お母さまの童話	武田雪夫	金の星社	.90
カタカナ童話、ニゲタカゴメ	濱田廣介	文昭社	1.20
新日本少年少女文庫11 心を清くする話	吉江喬松編	新潮社	1.50
童話集、續良寛さま	大坪草二郎	古今書院	1.00
子ども圖書館	塚原健二郎	中央公論社	1.50
資源と産業、國の寶	太田正孝	新潮社	1.50
兵隊さんが書いた雪と兵隊 戦争手記	西田稔	都祥閣	.50
兵隊さんが書いた山と兵隊 山岳戦記	同上	同上	.50
小さな船長さん	横山隆一	朝日新聞社	.90
長篇童話、虹の出帆	土家由岐雄	双雅房	1.50

風の又三郎	宮澤賢治	羽田書店	2.00
幼児標準繪本	武井武雄	鈴木仁成堂	各.40
下りブツノチエ 上、下	櫻木康雄	田中宋榮堂	.65
少年版、土と兵隊	西原勝	アルス	1.00
航空少年讀本	坪田讓治	童話春秋社	1.30
善人と三平	德永壽美子	金の星社	1.00
カタカナ童話集	小川未明	アルス	1.00
夜の進軍喇叭	鹿島鳴秋編	滿洲日日新	1.80
滿洲童話作品集 第一輯	芳賀たかし	中村書店	1.00
愉快な仔熊	德永壽美子	童話春秋社	.90
新選童話 二年生	ポーター女史	中央公論社	1.70
美しき世界	野上彌生子	中央公論社	1.70
廣介童話名作選	濱田廣介	羽田書店	2.50
ヒーター少年	キングストン著	朝日新聞社	1.50
新選童話 五年生	清水暉吉	朝日新聞社	1.50
銃後童話讀本	小出正吾	童話春秋社	.90
カミサマノオハナシ	童話作家協會編	金の星社	1.00
發明と工業の日本	藤田美津子	赤橋幼稚園	2.60
太陽をかこむ子供たち	大河内正敏	アルス	1.00
生きようとする姿	川崎大治	文昭社	1.70
火と焔	石森延男編	修文館	1.50
宇宙旅行	白井俊明	誠文堂新光社	2.00
戦地の子供	光川久	同上	2.00
支那文學選	國分一太郎	中央公論社	2.00
楽しい算術學校	佐藤春夫選	新潮社	1.50
王の家	藤原安治郎	誠文堂	1.80
	平方久直	文照社	1.50

21. 臺南州下圖書館表 (24館)

圖書館名	經費	藏書冊數	閱覽人員	閱覽冊數	一日平均人員
臺南圖書館	9,233	24,502	100,012	174,296	302
嘉義圖書館	4,493	11,263	106,096	151,544	322
歸仁圖書館	210	1,953	8,845	8,678	29
關廟圖書館	...	802	738	970	3
新化圖書館	300	496	6,840	9,264	19
善化圖書館	848	1,204	18,689	27,120	56
麻豆圖書館	682	2,302	14,369	8,593	46
下營圖書館	120	1,089	1,200	2,505	4
六甲圖書館	85	850	4,018	4,129	15
官田圖書館	90	498	3,419	5,828	11
住里圖書館	522	931	4,634	836	14
新營圖書館	880	566	15,032	24,084	50
鹽水圖書館	1,548	2,412	27,390	28,634	91
柳營圖書館	301	1,753	1,522	1,582	5
新巷圖書館	789	1,450	5,482	6,067	19
斗六圖書館	440	1,580	6,536	9,480	24
虎尾圖書館	1,683	1,713	8,354	1,886	24
海口圖書館	76	773	52	84	0
土庫圖書館	300	262	1,556	3,343	5
北港圖書館	365	1,267	12,329	17,550	38
東石圖書館	681	2,949	23,099	33,611	70
六脚圖書館	679	1,428	11,468	17,322	35
布袋圖書館	65	470	365	448	1
太保圖書館	109	510	598	619	2

○經費ハ昭和15年度豫算其他ハ昭和14年度統計ニヨル

備考	全島公私立圖書館88館			
	臺北州	17	新竹州	7
	臺中州	30	臺南州	24
	高雄州	7	臺東廳	1
	花蓮港廳	1	澎湖廳	1



（模糊不清）

22. 圖書館分類表大綱

000 一般圖書	340 {歐米文學	650 動物學
010 書目及書史學	350 {東洋文學	660 植物學
020 事彙	360 {小論說、批評	670 {地質學、礦物學
030 叢書	370 {演說、技	670 {古生物學
040 隨筆、雜書	380 {國語、朝鮮語	680 醫學 (其一)
050 雜誌	390 {琉球語	690 醫學 (其二)
060 新聞	400 歷史、地誌	700 工學、兵事
070 臺灣	410 日本史	710 土木工程學
080 兒童用圖書	420 支那史	720 機械工學
090 希臘書、古書	430 亞細亞諸國史	730 電氣工學
100 哲學	440 歐米其他諸國史	740 建築學、造家學
110 宗教學	450 傳記	750 鑛山學
120 {神書附和	460 地誌紀行	760 {海事、造船、航海
130 {佛書附和	470 日本地誌	770 {航空及自動車
140 {基回教	480 支那地誌	780 陸軍
150 論理學	490 其他外國地誌	790 海軍
160 心理學	500 法制、經濟	800 藝術
170 倫理學	510 政治律	810 書畫
180 {支附那漢	520 法律	820 彫刻、金刻、鑄物
200 教育學	530 古代法制	830 詩繪、漆器
210 教育學	540 經濟	840 製版、印刷
220 實地教育	550 財政會	850 寫真
230 初等及普通教育	560 社會	860 音樂
240 高等教育	570 風俗	870 {諸藝、遊戲、娛樂
250 專門及特殊教育	580 統計	870 { (其一)
260 社會教育	590 {植民、移住、經營	880 {諸藝、遊戲、娛樂
270 {體育、學校衛生	600 理學、醫學	880 { (其二)
及遊戲、演劇	610 數學	900 產業、家政
280 學校建築及器具	620 物理學、化學	910 農業及茶業
300 文學、語學	630 {星地學、地文學	920 園藝
310 日本文學	640 博物學	930 {山林、牧畜、養蜂
320 國文學		{養禽、養蠶
330 支那文學		940 水產、漁業、鹽業
		950 蠶業
		960 商業
		970 交通、通信
		980 工業
		990 家族及家庭

特254

108

終